

City of Kumamoto

熊本市 市勢要覧2012
OUTLINE OF KUMAMOTO CITY





発刊にあたって

熊本市は、清らかな地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれ、熊本城をはじめとする優れた歴史遺産と伝統文化を受け継ぐ、九州中央の拠点都市です。

私たち市民は、先人たちが築いてきたこの“ふるさと熊本”を誇りに思い、さらに活気あふれる魅力あるまちへと発展させるために、市民・事業者・行政がお互いの役割と責任を担いながら、協働のまちづくりを進めています。

このような中、昨年3月には九州新幹線が全線開業し、さらには周辺3町との合併を経て、本市は本年4月に政令指定都市として、飛躍に向けた新たな一歩を踏み出しました。

今後は、拡充された権限と財源を最大限に活用し、熊本の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めることで、国内外における本市の拠点性をより一層高めてまいりたいと考えています。

また、昨年2月に策定した「挑戦元年アクションプラン」のもとに、市役所・交通体系・中心市街地の再デザインも進めており、指定都市移行を契機として、県内はもとより九州全体の発展に「貢献できる都市」、全国から東アジアから「選ばれる都市」、そして、もっと暮らしやすさを実感できる「日本一暮らしやすいまち」の実現を目指してまいります。

最後になりますが、この「2012年市勢要覧」が、皆様方に本市の取り組みをご理解いただく一助となれば、大変幸いに存じます。

平成24年4月

熊本市長 幸山 政史



H23.3 九州新幹線全線開業



H23.3 桜の馬場 城彩苑開館



H23.10 くまもと森都心プラザ開館



H24.1 熊本上海事務所開設



H24.4 政令指定都市へ移行

CONTENTS【目次】

発刊にあたって

市の概要 2



政令指定都市誕生のあゆみ 4

中央区 5

東 区 6

西 区 7

南 区 8

北 区 9



第6次総合計画 10

くらし わくわくプロジェクト 12

めぐみ わくわくプロジェクト 14

おでかけ わくわくプロジェクト 16

出会い わくわくプロジェクト 18

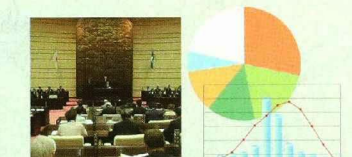


市 政 19

市議会 20

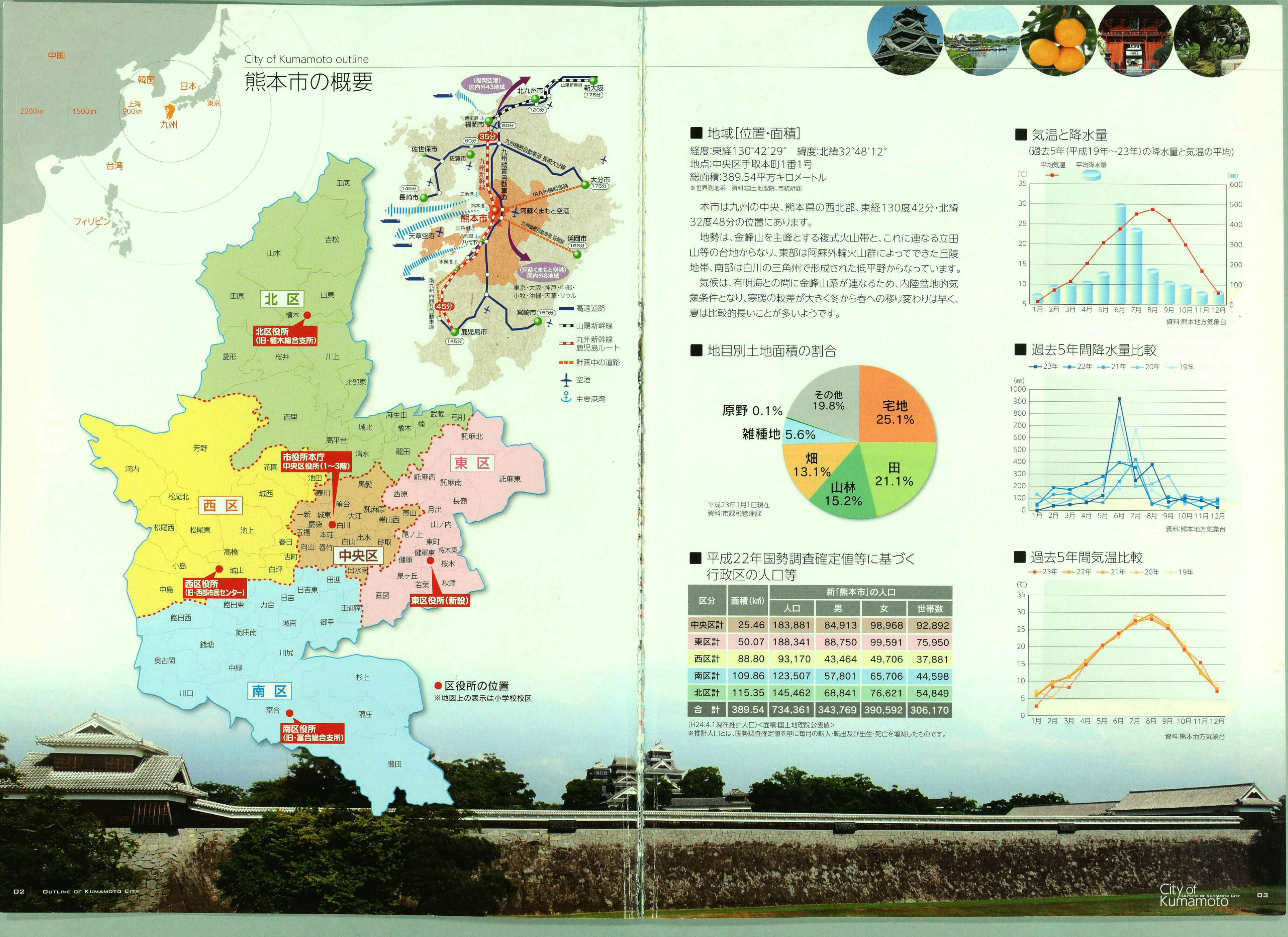
組織図 22

資料編 24



名誉市民 37

市のシンボル 裏表紙



City of Kumamoto outline 熊本市の概要

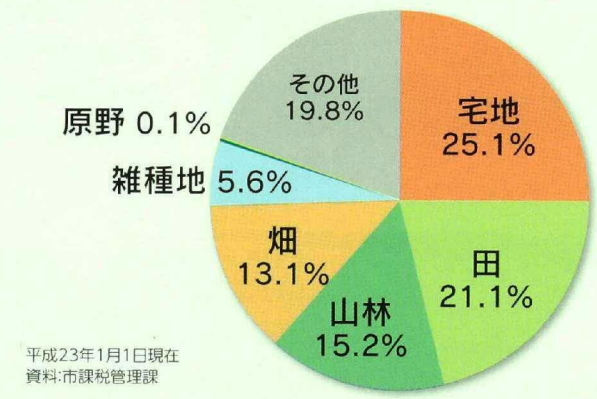


■ 地域[位置・面積]

経度:東経130°42'29" 緯度:北緯32°48'12"
地点:中央区手取本町1番1号
総面積:389.54平方キロメートル
※世界測地系 資料:国土地理院、市統計課

本市は九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分の位置にあります。
地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯、南部は白川の三角州で形成された低平野からなっています。
気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

■ 地目別土地面積の割合



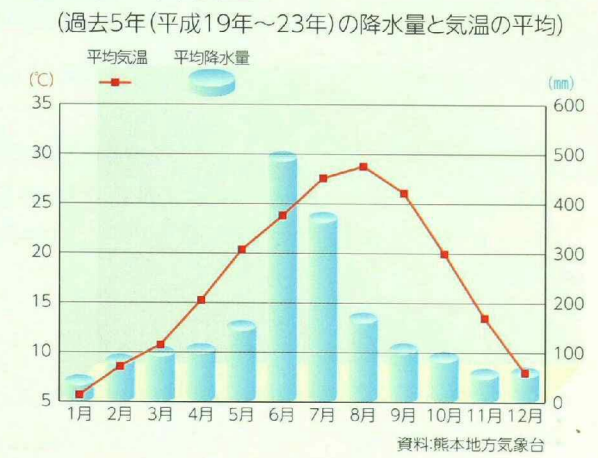
平成23年1月1日現在
資料:市課税管理課

■ 平成22年国勢調査確定値等に基づく行政区の人口等

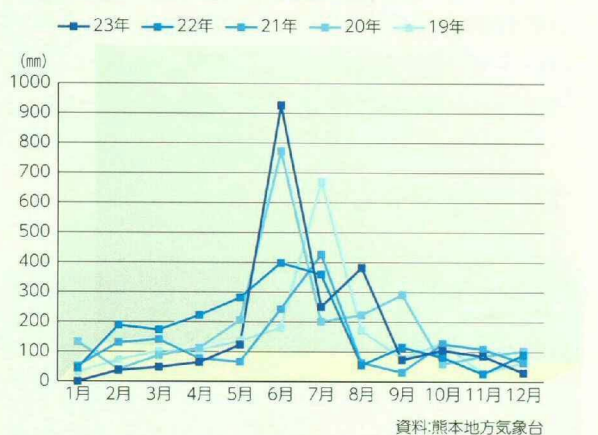
区分	面積(km)	新「熊本市」の人口			
		人口	男	女	世帯数
中央区計	25.46	183,881	84,913	98,968	92,892
東区計	50.07	188,341	88,750	99,591	75,950
西区計	88.80	93,170	43,464	49,706	37,881
南区計	109.86	123,507	57,801	65,706	44,598
北区計	115.35	145,462	68,841	76,621	54,849
合計	389.54	734,361	343,769	390,592	306,170

(H24.4.1現在推計人口)＜面積:国土地理院公表値＞
※推計人口とは、国勢調査確定値を基に毎月の転入・転出及び出生・死亡を増減したものです。

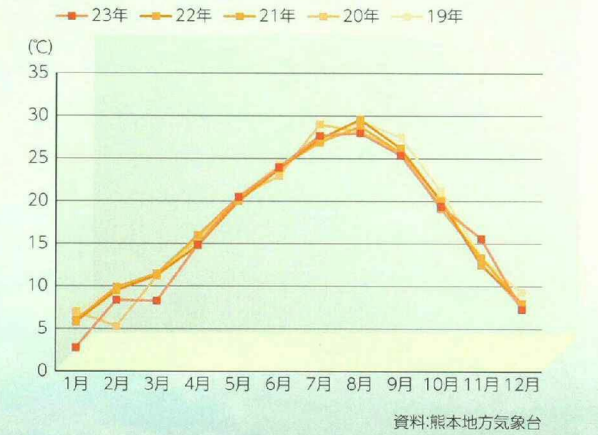
■ 気温と降水量



■ 過去5年間降水量比較



■ 過去5年間気温比較



平成24年4月1日

政令指定都市誕生のあゆみ

合併(富合町)

- 平成19年 1月 5日 「熊本市・富合町合併協議会」設置
10月31日 熊本市と富合町の合併について調印
12月17日 「廃置分合議案」議決(熊本県議会)
平成20年 1月30日 総務大臣による廃置分合の告示
10月 6日 新熊本市の誕生

合併(城南町・植木町)

- 平成20年10月 2日 「熊本市・城南町合併協議会」設置
12月 4日 「熊本市・植木町合併協議会」設置
平成21年 7月 6日 熊本市と城南町の合併について調印
7月14日 熊本市と植木町の合併について調印
9月14日 「廃置分合議案」議決(熊本県議会)
10月16日 「総務大臣により廃置分合の告示」
平成22年 3月23日 新熊本市の誕生

指定都市へ

- 平成22年 5月31日 「行政区画の編成及び区役所の位置」について市の方針決定
10月26日 事務権限移譲に関する県市基本協定締結
11月30日 「政令指定都市の実現に関する意見書」議決(熊本市議会)
平成23年 2月 4日 「行政区の名称」について市の方針決定
3月15日 「熊本市の政令指定都市に関する意見書」議決(熊本県議会)
8月29日 総務大臣等に政令改正の要望書提出
10月18日 政令改正に関する閣議決定
平成23年10月21日 政令公布
平成24年 4月 1日 指定都市熊本誕生
指定都市移行記念式典開催



中央区

中央区役所
〒860-8618 中央区手取本町1番1号
☎096-328-2555(代表)

中央区の人口(※H24.4.1現在推計人口)

人口 183,881人

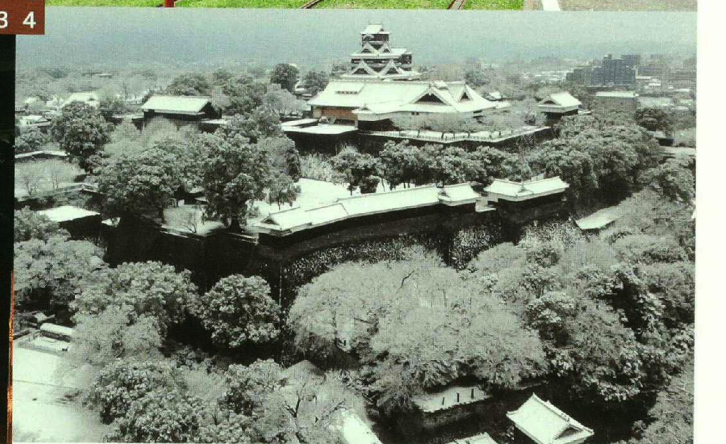
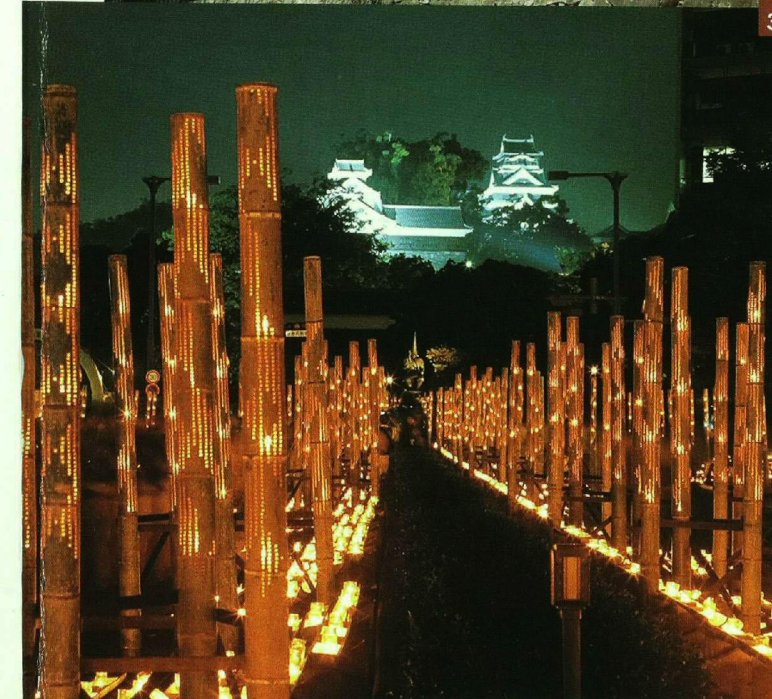
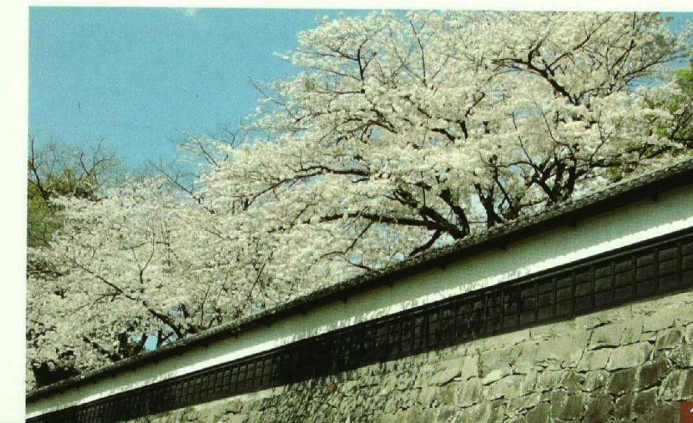
世帯 92,892世帯

面積 25.46 km²(国土地理院公表値)



熊本城を中心とした市中心地域の人口密度が最も高く、都市集積が進んでいるエリアで、区の中には上通、下通のアーケード街を核とする県内一の中心商店街が広がる一方、周辺地域には旧城下町としての佇まいの街並みも残っており、新旧の調和が保たれています。

また、行政機関や企業の本店も多く、交通網の拠点として交通センターからは放射線状にバス網が張り巡らされています。



- 1 長壁の桜…国の重要文化財・熊本城の長壁(全長約242m)と壁の上から見える熊本城内の桜が見事なコントラストを描いています。
- 2 市電…市街地の新たな緑創出事業のひとつ、「市電緑のじゅうたん事業」による市電軌道敷内の緑。
- 3 みずあかり…熊本城～桜町～花畑公園にかけて続く道路をいろいろ市民のお祭り「みずあかり」。
- 4 熊本城と雪…お城の黒と雪の白で幻想的な雰囲気をもつ冬の熊本城。

City of
Kumamoto





東区

東区役所
〒862-8555 東区東本町16番30号
☎096-367-9111 (代表)

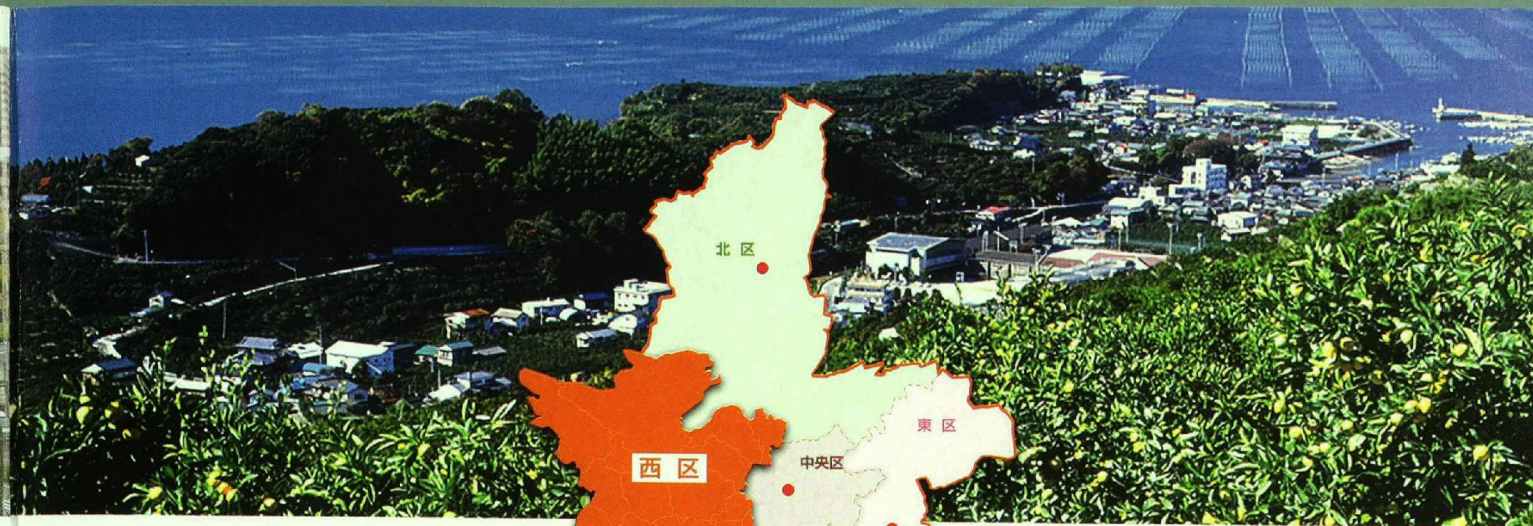
東区の人口 (※H24.4.1現在推計人口)

人口 188,341人
世帯 75,950世帯
面積 50.07km² (国土地理院公表値)



東区は、熊本市の東部に位置し、五つの区の中ではもっとも人口の多い地域です。

区域内には国道57号(通称東バイパス)や県道36号(通称第二空港線)、県道103号(通称国体道路)等の主要幹線が走り、商業施設や医療機関、学校や福祉施設等も多く、都会の姿を見せる一方で、北には託麻三山、南には江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然とが調和した住環境に優れた地域です。



西区

西区役所
〒861-5292 西区小島2丁目7番1号
☎096-329-1111 (代表)

西区の人口 (※H24.4.1現在推計人口)

人口 93,170人
世帯 37,881世帯
面積 88.80km² (国土地理院公表値)



西区は、熊本市の西側に位置し、河内みかんなどの果樹栽培の盛んな金峰山、ノリやアサリ・ハマグリなどの養殖も盛んな有明海など豊かな自然に恵まれたところです。加えて、陸の玄関である熊本駅、海の玄関である熊本港も擁しており、人や物の交流拠点として重要な役割を担っています。

また、国指定史跡である「池辺寺跡」や「千金甲古墳」のほか、宮本武蔵が五輪書を執筆した霊巖洞、加藤清正の菩提寺である本妙寺など名所・旧跡も数多く存在し、西区は「自然」「食」「賑わい」「歴史」に恵まれた地域となっています。



1 自然

区の北部には、託麻三山とそれに隣接して熊本県民運動公園があり、南部には1日40万トンもの湧水量を誇り、貴重な植物、魚が生息する江津湖や120種1000頭の動物と5万点の植物を有する動植物園等があり、市民の憩いの場となっています。

2 歴史・文化

区の南部には、幕末の思想家横井小楠の家塾跡横井小楠記念館(四時軒)があり、小楠に関する資料のほか、勝海舟や吉田松陰、西郷隆盛などのゆかりある人々の書も展示されています。また、本格的ホールを持つ健康文化ホールは「生活文化拠点」として市民に利用されています。

3 商業とまちづくり

新がんばる商店街77選にも選ばれた健康商店街をはじめ、各地域で医商連携や環境、健康支援等、地域に根ざした商店街活動が行われています。また、区唯一の商工会、託麻商工会でも青少年健全育成や福祉への支援活動等、人にやさしく、地域に愛される取り組みが行われています。

4 農業

区域には、主体的に取り組む組織も育成されており、整備された水田に、米、麦、大豆が大規模に生産されています。また、区の北東部では、酪農、肉用牛、養豚、馬の生産が盛んに行われ、本市畜産の中心となっています。



1 熊本駅

九州新幹線の全線開業により、九州の真ん中に位置する熊本市は、交通の要衝としての役割が飛躍的に高まり、関西圏との人的交流、商圏の拡大が期待されています。

2 熊本港

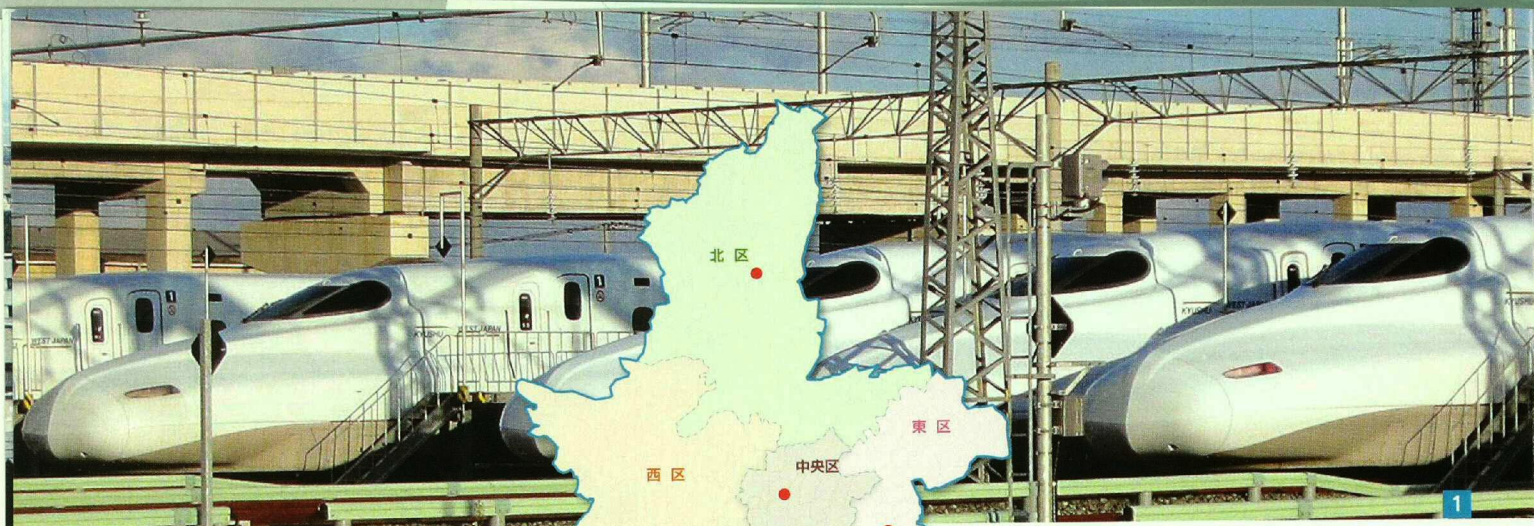
熊本の西部に位置し、熊本駅から車で約20分のところにある熊本の海の玄関口です。敷地からは島原と雲仙が望め、きれいな夕日スポットとしても人気です。

3 森都心プラザ

JR熊本駅前にある複合施設で、「観光・郷土情報センター」、「プラザ図書館」、「ビジネス支援センター」、「プラザホール」など多くの施設で構成されています。

4 本妙寺

加藤家代々の菩提寺で日蓮宗の名刹です。清正が父の菩提寺として大阪に建立したものを、肥後入国後、熊本城内に移し、清正の逝去後、さらに現在の中尾山中腹に移建されました。



南区

南区役所
〒861-4189 南区富合町清藤405番地3
☎096-357-4111 (代表)

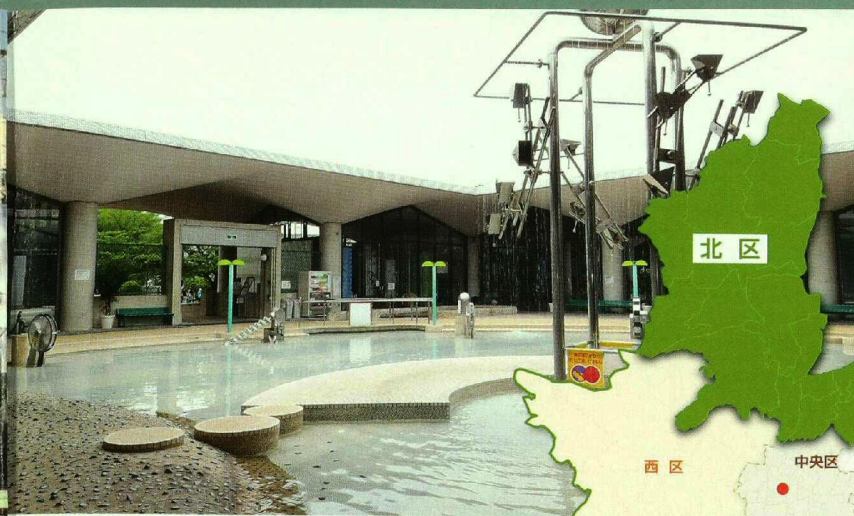
南区の人口 (※H24.4.1現在推計人口)

人口 123,507人
世帯 44,598世帯
面積 109.86km² (国土地理院公表値)



南区は、加勢川、緑川など一級河川が東西を貫流し、雁回公園や塚原古墳公園などの拠点的な公園緑地を有する、自然豊かな地域であり、区域の半分を占める農地では、きゅうり、メロン、トマトやナス、花きなどの栽培が盛んに行われています。

一方で、半導体生産のルネサスセミコンダクタ九州工場や城南工業団地、県内の流通の拠点である流通業務団地、新幹線熊本総合車両基地などがあり、熊本の製造業、運輸業の中枢を支える地域でもあります。



北区

北区役所
〒861-0195 北区植木町岩野238番地1
☎096-272-1111 (代表)

北区の人口 (※H24.4.1現在推計人口)

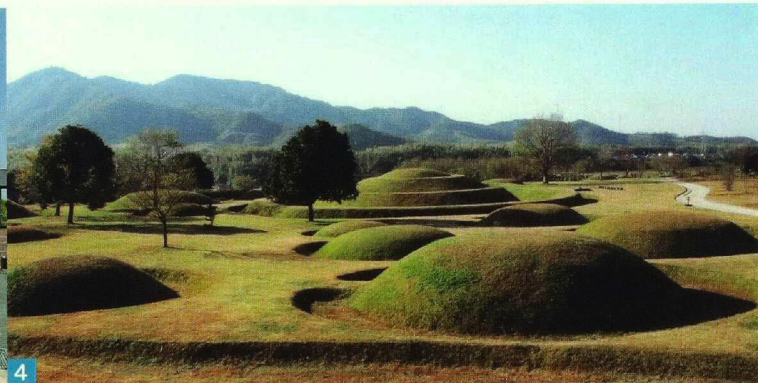
人口 145,462人
世帯 54,849世帯
面積 115.35km² (国土地理院公表値)



北区は熊本市の北部に位置し、五つの区の中でもっとも面積が大きい区です。

区域内を国道3号が走り、豊かな農産物に恵まれ、文化・歴史では、田原坂、武蔵塚等の史跡、また、本市の上水道の水源としても利用される八景水谷水源や立山山等自然も豊かです。

また植木温泉や宮原温泉、菊南温泉、梶尾温泉など癒しを得られる場所に富み、「食」「歴史」「自然」「温泉地」に恵まれた暮らしやすい地域です。



1 熊本総合車両基地
熊本総合車両基地は、博多総合車両所、仙台の新幹線総合車両センターに次いで日本で3番目の新幹線の総合車両基地となります。

2 くまもと工芸会館
古くから桶や刃物などの伝統工芸が盛んな川尻町にあり、川尻桶や刃物、肥後象眼などの伝統工芸品と共に、陶芸、革細工、ステンドグラスなどの現代工芸品を展示しています。

3 川尻の船着場
江戸時代、船荷の積み下ろしのために設けられた船着場。明治初期の記録では年間1,000艘を超える商船が行き来したとされています。

4 塚原古墳公園
国内最大級の国指定史跡「塚原古墳群」が広がり、桜やアジサイ、コスモスなど季節の花が咲く美しい古墳公園に整備されています。

5 アクアドーム
市民の皆様がスポーツを楽しみ、また豊かな暮らしを形成するためのスポーツコミュニティ拠点として身近に親しめる施設です。



1 田原坂資料館
西南の役当時の貴重な官軍の武器・弾薬・備品などの遺品や戦争資料が展示してあります。

2 フードパル熊本
食に関する施設が集まる食のテーマパーク。園内では工程の見学やソーセージづくりなどの体験ができます。

3 武蔵塚公園
剣豪・宮本武蔵が眠る公園。園内には、象徴の二刀を携えて立つ武蔵のブロンズ像も置かれ、日本庭園や茶室などもある緑多い静かな公園となっています。

4 八景水谷公園
水と遊び、水を知る公園。園内には、豊富な湧水量を誇る水源や、小さな子どもも水と触れ合える池、水について学べる「水の科学館」があり、水と親しめる公園となっています。



めざす
まちの姿

City of Kumamoto outline
熊本市第6次総合計画

湧々都市くまもと



熊本市第6次総合計画の体系

基本構想

まちづくりの基本理念

●めざすまちの姿●

『湧々(わくわく)都市くまもと』

～九州の真ん中! 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～

まちづくりの重点的取り組み

「くらし わくわく」プロジェクト
「めぐみ わくわく」プロジェクト
「おでかけ わくわく」プロジェクト
「出会い わくわく」プロジェクト

分野別取り組みの基本方針

めざすまちの姿の実現に向けた分野ごとの施策の基本方針

構想を推進するために

～九州の真ん中! 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～

熊本市第6次総合計画は、本市のめざすまちの姿を『湧々(わくわく)都市くまもと ～九州の真ん中! 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～』とし、子育て支援や公共交通機関の充実などの、特に重点的に取り組む「くらし」「めぐみ」「おでかけ」「出会い」の4つのわくわくプロジェクトを掲げるとともに、すべての施策分野にわたり、市民、地域団体・NPO等、事業者、行政それぞれの活動の目安となる役割分担を示した、長期的なまちづくりの計画です。

この計画を、市民の皆さんと行政の共通・共有するまちづくりの指針とし、総合的・計画的な市政運営に努めながら、市民協働の新しい熊本づくりを進めています。

計画期間:平成21年度～平成30年度

基本計画

計画の前提

まちづくりの重点的取り組み

①「くらし わくわく」プロジェクト

夢わく1 子ども大人もみんなの笑顔が輪になるまちをつくる

夢わく2 だれもが能力を発揮でき、将来も住み続けたいと思えるまちをつくる

12Pに詳細

②「めぐみ わくわく」プロジェクト

夢わく3 ふるさとの自然を守り、世界に誇れる環境先進都市をつくる

夢わく4 伝統と文化が息づき、「くまもと」の恵みを満喫できるまちをつくる

14Pに詳細

③「おでかけ わくわく」プロジェクト

夢わく5 だれもおでかけしたくなるまちをつくる

夢わく6 バス・電車、自転車などで気軽におでかけできるまちをつくる

16Pに詳細

④「出会い わくわく」プロジェクト

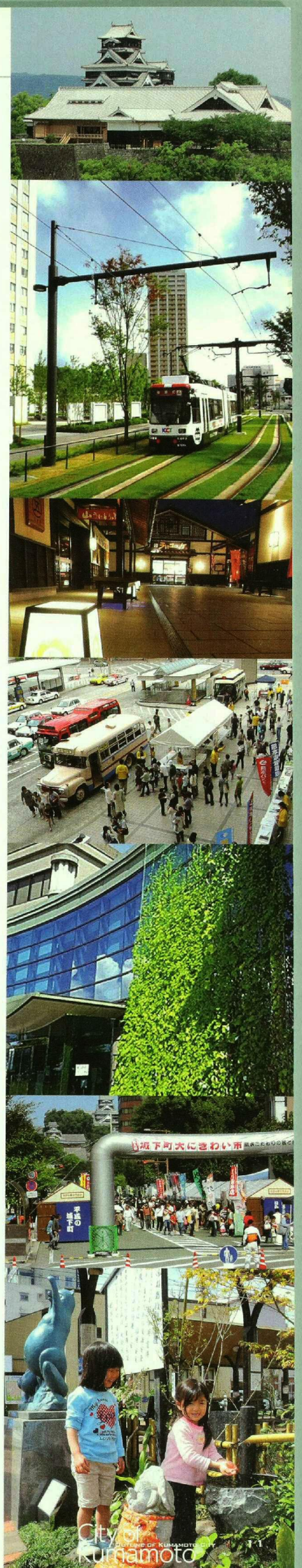
夢わく7 温かいおもてなしの心があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくる

18Pに詳細

分野別施策

- 1 一人ひとりの人権が等しく尊重され、わけ隔てなく参画できる社会の実現
- 2 とともに支え合い、文化に親しみ安全で安心して心豊かに暮らせる生活の実現
- 3 生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健・福祉の充実
- 4 子育てしやすく、子どもたちの健やかな成長をはぐくむ環境づくりの推進
- 5 豊かな人間性と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の振興
- 6 水と緑の良好な環境の保全と循環型社会の構築
- 7 地域の活力をつくりだす産業・経済の振興
- 8 安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実

基本計画の推進に向けて



①くらし わくわくプロジェクト

夢わく① 子どもも大人もみんなの笑顔が輪になるまちをつくる

子どもたちが笑顔になると家庭も地域も明るく元気になる。
そんな、みんなの笑顔が輪になり広がるまちをつくります。

主な取り組み

①子どもたちが楽しく、いきいきと 学び遊べる環境づくり

- 放課後の学びや遊びの場である部活動、児童育成クラブや放課後子ども教室、元気に安全に遊べる公園など、子どもが楽しく親が安心できる居場所づくり
- 学ぶ楽しさ・分かる喜びを実感できる学習、自然や生き物、芸術・文化とふれあう体験、住んでいるまちを誇りに思い、郷土の先輩や熊本の歴史に学ぶ機会づくり など

②社会全体で子育てやワーク・ライフ・ バランスを応援するまちづくり

- 子育てバリアフリーの推進による子どもと一緒に安心して外出できる環境づくり、安心して産み育てられる保育、保健・医療サービスの充実
- 女性や子育て世代などがいきいきと活動できるよう、仕事と子育てなどの両立を支援する仕組みづくり など

具体的な取り組み例

- 子ども科学・ものづくり経費／熊本博物館
- ナイスライ事業経費／指導課
- こんには赤ちゃん事業／子ども支援課
- 乳幼児ママ・パパ教室事業／子ども支援課

子ども科学・
ものづくり教室

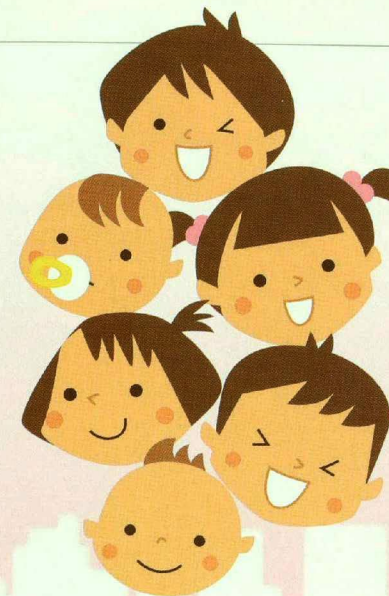
乳幼児ママ・パパ教室

乳児のいる
家庭への訪問

感性をみがく
教育の推進(道徳)

中学生を対象とした
職場体験活動

感性をみがく
教育の推進(芸術)



私たちの
約束

「私たちは、すべての人がいきいきと暮らし、
将来の夢と希望を描けるまちをつくります。」

次の時代を担う子どもたちは、まちの宝です。子どもたちの笑顔がまちを輝かせます。

子どもたちがいきいきと育ち、若者や女性、高齢者、障がいのある人なども、だれもが能力を発揮し、夢と希望を描きながら生涯にわたって「くまもと」に暮らし、その夢を実現できるまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

夢わく② だれもが能力を発揮でき、将来も住み続けたいと思えるまちをつくる

若者が夢を持って働き、高齢者や障がいのある人も、だれもが自分の能力を発揮しながら、ずっと「くまもと」に住み続けたいと思えるまちをつくります。

主な取り組み

①暮らしを支え、働く意欲に応える 「くまもと元気産業」づくり

- 豊かな農水産物の第6次産業化、食を通じた観光振興などの異業種連携、大学やIT技術産業の集積を生かした新たな商品開発や起業化の支援など、本市の地域特性を生かした新たな産業の創出
- コミュニティビジネスや福祉・健康・環境保全など、暮らしを支える地域産業の振興と就業機会の拡充 など

②暮らしを豊かに、将来も住み続けたいと 思える地域づくり

- 多様な世代の地域活動への参加を促す仕組みづくりなど、若者の行動力やシニア層の経験等を生かした個性豊かな地域づくりの推進
- 子どもや高齢者・障がいのある人の見守り、防災・防犯などに対する地域力の強化による、だれもが安全安心して暮らせる地域づくりの推進 など

具体的な取り組み例

- 若年者の就活支援塾経費／産業政策課
- 企業誘致戦略事業／企業立地推進室
- 市民公益活動推進経費／市民協働課
- 防災に関する啓発経費／危機管理防災総室

自主防災クラブ活動



自然災害等
に対する備え

市民活動団体の活動支援
(あいぽーと文化祭)

企業誘致説明会
(東京開催)

若年者を対象とした
就活支援塾

② めぐみ わくわく プロジェクト

夢わく③ ふるさとの自然を守り、世界に誇れる環境先進都市をつくる

地域環境の保全はもとより、温暖化対策をはじめとする地球環境問題に率先して取り組み、「日本一の地下水都市」「森の都」の名にふさわしい世界に誇れる環境先進都市を目指します。

主な取り組み

①地球温暖化防止をリードする都市づくり

- 環境保全型エネルギーの活用や省エネルギーの推進、公共交通機関の利用促進などによる、低炭素都市の実現
- 屋上緑化や壁面緑化などによるヒートアイランド現象の緩和 など

②見て、ふれて、豊かさを体感できる水と緑の空間づくり

- 「熊本水遺産」や名水百選の活用、街かどの水の演出など、地下水都市を印象づける空間づくり
- 街なかにおける木陰づくりや市電軌道敷緑化など、新たな緑の創出による「森の都」を印象づける空間づくり など

③地球環境を守るライフスタイルの実践

- 省エネや節水運動、ごみ減量・リサイクル(3R)の推進などによる、市民総参加の持続可能な資源循環型社会づくり など

具体的な取り組み例

- 屋上等緑化経費／緑保全課
- 地下水都市熊本空間創出経費／水保全課
- 市電緑のじゅうたん事業／緑保全課
- わくわく江津湖フェスタ
環境フェア開催経費／環境政策課



まちなか12設置された親水施設



緑のカーテンの設置



市電軌道敷に設置された緑のじゅうたん



環境フェアの開催



私たちの
約束

「私たちは、先人から受け継いだ豊かな恵みをはぐくみ、次の世代に引き継ぐまちをつくります。」

「くまもと」は、歴史・文化と自然の宝庫です。
この恵まれた環境と素材にさらに磨きをかけ、世界に誇れる質の高いまちをつくりあげるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

夢わく④ 伝統と文化が息づき、「くまもと」の恵みを満喫できるまちをつくる

熊本城に象徴される歴史的遺産や伝統、文化をはじめ、風情ある町並み、安全でおいしい水や食材などの本市特有の豊かな恵みを、魅力的な市民共有の財産として今の時代に生かし継承するとともに、市民の健康づくりを支える食文化のまちをつくります。

主な取り組み

①地域に息づく伝統や市民の力が生み出す新しい熊本文化の振興

- 市民総参加による熊本城復元整備計画の推進や、俳句、邦楽、神楽や獅子舞などの地域に伝わる伝統の継承、「みずあかり」などの市民の力が生み出す新しい熊本文化の振興 など

②豊かな農と食の恵みを生かしたまちづくり

- 熊本の良質な食材と食文化を生かした食育の推進による健康づくりや、熊本産の花で彩るうまいものある暮らしづくり
- 肥後スープなどの地産地消メニューの開発・販売や、地産地消レストラン等の認定・拡大等による、「食の恵みのまち くまもと」の確立と発信 など

具体的な取り組み例

- 熊本城第Ⅱ期復元整備事業／熊本城総合事務所
- 新「一口城主」募集経費／熊本城総合事務所
- 学校給食・食育推進事業／健康教育課
- 農産物フェア開催経費／流通消費対策室



熊本城の復元整備



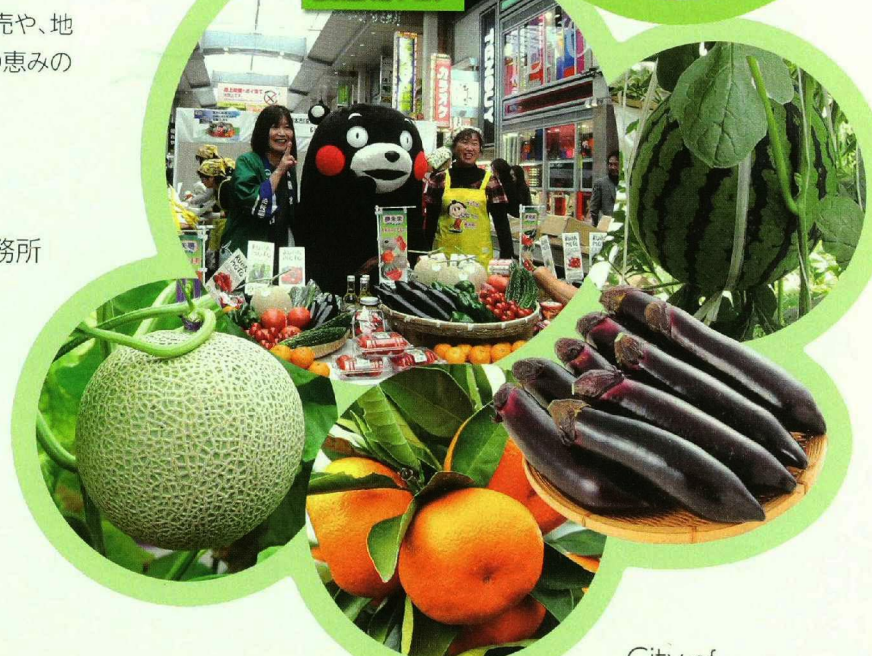
新「一口城主」の城主証



学校給食を通して地域とのふれあい



農産物フェア



③おでかけ わくわくプロジェクト

夢わく⑤ だれもおでかけしたくなるまちをつくる

中心市街地や地域の商店街、動植物園、江津湖などの拠点の魅力を高め、友達や家族と楽しく語らいながら、花や緑などの季節の移ろいや、まちの魅力をゆったりと味わうことが出来る、おでかけすることが楽しいまちをつくります。

主な取り組み

①にぎわいと楽しさあふれるまちづくり

- ストリート・アート・プレックス、ゆかたまつりなどのにぎわい創出による中心市街地の魅力の向上や、地域のまつり、商店街のイベントなど、地域の個性を生かしたにぎわいづくり
- マスコミ、ホームページ、携帯電話などを活用した、積極的なイベント情報の発信 など

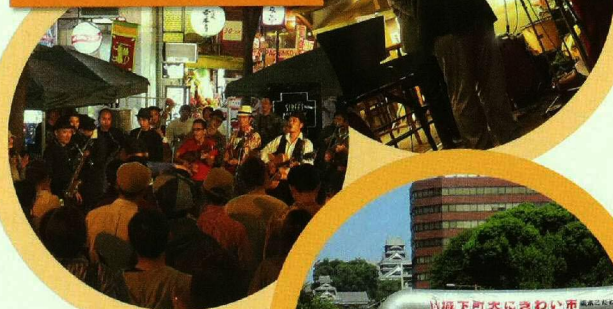
②自然の豊かさと安らぎに満ちたオアシスの創出

- 江津湖や動植物園の魅力向上や多自然型河川の整備などによる、水の豊かさと安らぎを感じられるオアシスづくり
- 金峰山、立田山、雁回山などにおける散策コースの整備等、森林浴や野鳥・野草観察など、自然と一体化できる森と緑のオアシスづくり など

具体的な取り組み例

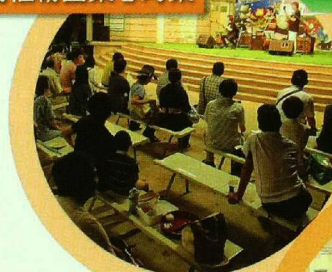
- 商店街活性化対策事業／商工振興課
- 城下町大にぎわい市開催事業／商工振興課
- 動植物園再編整備経費／動植物園
- 博物館わくわく企画展開催経費／熊本博物館

ストリート・アート・プレックス
クマモト

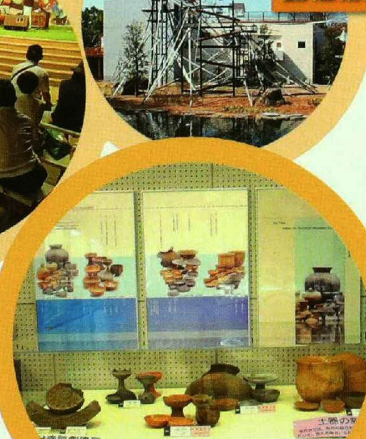


城下町大にぎわい市
の開催

動植物園集客対策



動植物園再編整備



博物館わくわく企画展の開催



私たちの
約束

「私たちは、だれもが気軽におでかけできる
まちをつくります。」

おでかけが楽しいまちは、人の元気とまちの元気があふれるまちです。

日常のおでかけ、休日のおでかけ、遠くへのおでかけが楽しく、便利なまちをつくるため、次の2つの「夢わく」を推進します。

夢わく⑥ バス・電車、自転車などで気軽におでかけできるまちをつくる

仕事へ、学校へ、買い物へ、私たちの毎日は、おでかけの連続です。

日常生活において、クルマがなくてもだれもが気軽に快適に移動できるまち、遠くへのおでかけの際に、その交通拠点へのアクセスがしやすいまちをつくります。

主な取り組み

①だれもが利用しやすい公共交通システムの整備

- 交通機関相互の結節強化やバス網再編、コミュニティバスの導入検討やデマンドタクシーの充実、利用者のニーズに即したダイヤ改正などによる公共交通機関の利便性の向上
- 車輌・施設・設備等のバリアフリー化、ICカードの導入による公共交通機関と商店街などとの連携促進 など

②自転車が利用しやすい環境や快適な歩行空間の整備

- 街なかにおける駐輪場や自転車走行環境の整備などによる自転車利用しやすい環境づくりや、市民一人ひとりの自転車利用マナー向上や木陰の創出などによる安全で快適な歩行空間の創出 など

③駅、港、空港、高速インターチェンジと都心とのアクセス向上

- スマートインターチェンジの整備促進、熊本駅や交通センター等から空港への公共交通機関によるアクセス機能の強化 など

具体的な取り組み例

- 公共交通機関利用促進経費／交通政策総室
- 電停改良経費／交通政策総室
- 熊本市おでかけパス券交付経費／障がい保健福祉課
- 放置自転車ゼロ作戦推進経費／土木管理課

電停のバリアフリー化



おでかけパス券の交付



公共交通利用促進
キャンペーンの開催

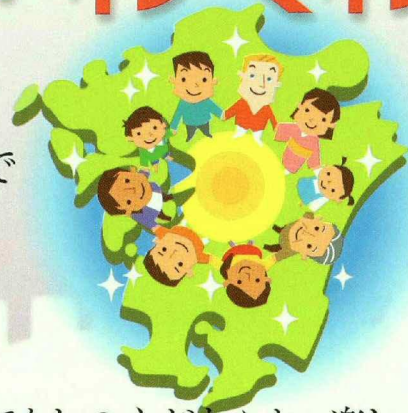


放置自転車ゼロ作戦

④ 出会い わくわく プロジェクト

私たちの
約束

「私たちは、おもてなしの心で
様々な出会いが生まれる
まちをつくります。」



「くまもと」は、九州の真ん中!

九州の元気を繋ぐまちです。

内外の多くの人々が「くまもと」を訪れ、楽しい豊かな時間を過ごしていただける「おもてなしのまち」をつくるため、次の「夢わく」を推進します。

夢わく⑦ 温かいおもてなしの心があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくる

来熊者が「くまもと」に良い印象を持って、何度も訪れてもらえるような、温かいおもてなしの心とまちの魅力・活気があふれ、楽しい交流が生まれるまちをつくります。

主な取り組み

① 世界に誇る熊本シティブランドづくりと国内外への「くまもと」の魅力の発信

○「熊本城」や「地下水」など、「くまもと」の魅力を生かしたまちづくりや国内外へのシティプロモーション活動の推進 など

② おもてなしの心でもてなす人と仕組みづくり

○観光ボランティアの育成や熊本のファンを増やすなど、郷土への愛着と来熊者へのおもてなしの心をもった人づくりの推進
○外国語の案内表示の設置など、外国人が一人でも安心して歩けるような、世界で通用するおもてなしの仕組みづくり など

③ 九州、アジアの交流拠点にふさわしいまちづくりと内外との活発な交流の促進

○九州中央の交流拠点にふさわしい、城下町の風情とにぎやかな商業空間が調和した中心市街地の形成や、熊本駅をはじめとした広域交通拠点における結節機能の向上や中九州横断道路の整備促進など、九州中央のハブ機能の確立
○九州各都市や東アジア諸都市との学術・文化、観光・経済など幅広い分野での交流の促進や、様々なコンベンション(大会・会議)の誘致等による交流機会の拡充 など

具体的な取り組み例

- 熊本シティブランド戦略推進経費／シティプロモーション課
- 観光案内サイン整備事業／観光振興課
- 東アジア経済交流戦略経費／産業政策課
- 桜の馬場観光交流施設整備事業／観光振興課

桜の馬場 観光交流施設
(桜の馬場 城彩苑)



観光案内サイン整備



熊本上海事務所開設



くまもと森都心プラザ

歴代市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉 村 大 八	明治22. 5. 6	明治26. 7. 9
2	松 崎 為 己	明治26. 9. 15	明治30. 8. 2
3	辛 島 格	明治30. 9. 13	大正 2. 1. 20
4	山 田 珠 一	大正 2. 4. 2	明治31. 10. 10
5	依 田 昌 兮	明治34. 1. 14	明治36. 9. 3
6	佐 柳 藤 太	明治36. 11. 20	明治40. 11. 19
7	高 橋 守 雄	明治41. 1. 19	明治44. 7. 13
8	辛 島 知 己	明治44. 9. 14	昭和 4. 7. 4
9	山 田 珠 一	昭和 5. 2. 5	明治39. 4. 17
10	山 隈 康	明治39. 5. 14	明治47. 5. 13
11	平 野 龍 起	明治47. 6. 25	明治50. 8. 10
12	石 坂 繁	明治50. 10. 4	明治51. 3. 11
13・14	福 田 虎 亀	明治51. 6. 14	明治53. 2. 9
15	佐 藤 真 佐 男	明治53. 4. 7	明治57. 3. 7
16	林 田 正 治	明治57. 3. 20	明治61. 2. 23
17・18	坂 口 主 税	明治61. 3. 16	明治63. 1. 4
19・20	石 坂 繁	明治63. 2. 15	明治65. 11. 26
21~24	星 子 敏 雄	明治65. 12. 20	明治66. 12. 6
25・26	田 尻 靖 幹	明治66. 12. 7	平成 6. 12. 6
27・28	三 角 保 之	平成 6. 12. 7	明治64. 12. 2
現市長	幸 山 政 史	平成 14. 12. 3	在 任 中

熊本市長
幸山 政史



副市長
西島 喜義



副市長
寺崎 秀俊



市議会

議長
津田 征士郎副議長
田尻 将博

市議会は、市民から選ばれた議員49名(現員数うち1名は合併特例によるもの)で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団(19名)、くまもと未来(10名)、市民連合(8名)、公明党熊本市議団(7名)、日本共産党熊本市議団(3名)、日本の教育を考える会(1名)、自由クラブ(1名)の7会派が結成されています。会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は予算・決算議案及び関連議案を審査する予算決算委員会のほか、総務・企画教育市民・福祉子ども・環境水道・経済・都市整備の計7委員会があり、所管部門の事務を調査し、議案などの審査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置されますが、付議された事件を審査するもので、現在、総合的なまちづくり対策に関する特別委員会・中心市街地の活性化に関する特別委員会・財政運営のあり方に関する特別委員会・議会活性化特別委員会・市民病院のあり方に関する特別委員会の各特別委員会があります。

歴代市議会議員

代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治 22. 4. 26	明治 24. 1. 21
2	興津景章	" 24. 1. 22	" 28. 5. 13
3	河原性	" 28. 5. 14	" 31. 5. 22
4	吉永為己	" 31. 5. 23	" 36. 2. 5
5	山田珠	" 36. 2. 6	" 37. 4. 30
6	吉永為己	" 37. 5. 27	大正 2. 4. 30
7	林千八	大正 2. 5. 10	" 6. 4. 30
8	山隈康	" 6. 5. 15	" 10. 9. 30
9	迫源次郎	" 10. 10. 14	" 14. 9. 30
10	山隈康	" 14. 10. 12	昭和 9. 5. 7
11	平野龍起	昭和 9. 5. 8	" 17. 6. 14
12	佐藤真佐男	" 17. 7. 23	" 22. 4. 29
13	佐藤真佐男	" 22. 6. 9	" 23. 4. 7
14	大塚勇次郎	" 23. 6. 5	" 26. 4. 29
15	大塚勇次郎	" 26. 5. 15	" 30. 4. 30
16	兼坂安次	" 30. 5. 21	" 34. 4. 8
17	打出信行	" 34. 6. 12	" 36. 3. 24
18	寸坂幸夫	" 36. 3. 24	" 38. 4. 30
19	阿部次郎	" 38. 5. 18	" 40. 3. 18
20	井上常八	" 40. 3. 18	" 40. 12. 7
21	石井辰雄	" 41. 7. 4	" 42. 4. 30
22	阿部次郎	" 42. 5. 20	" 43. 7. 3
23	坂梨日露	" 43. 7. 13	" 45. 12. 4
24	黒田弥一	" 45. 12. 4	" 46. 4. 30
25	落古清	" 46. 5. 20	" 48. 6. 6
26	古川国雄	" 48. 6. 6	" 50. 4. 30
27	紫上正良	" 50. 5. 16	" 52. 6. 4
28	田堅太	" 52. 6. 4	" 54. 4. 30
29	島永慶	" 54. 5. 14	" 56. 12. 8
30	藤山増美	" 56. 12. 8	" 58. 4. 30
31	宮原光男	" 58. 5. 18	" 60. 9. 6
32	大坂文夫	" 60. 9. 6	" 61. 12. 15
33	内田幸吉	" 61. 12. 15	" 62. 4. 3
34	西村建治	" 62. 5. 22	" 63. 12. 16
35	村上春生	" 63. 12. 16	平成 2. 3. 26
36	矢野昭三	平成 2. 3. 26	" 3. 4. 30
37	嶋田幾雄	" 3. 5. 17	" 5. 12. 3
38	中村徳生	" 5. 12. 3	" 7. 4. 30
39	荒木哲美	" 7. 5. 19	" 9. 3. 27
40	主海偉佐	" 9. 3. 27	" 11. 4. 30
41	江藤正行	" 11. 5. 21	" 13. 6. 8
42	白石正一	" 13. 6. 8	" 14. 6. 18
43	宮原政弘	" 14. 6. 18	" 15. 4. 30
44	落古清弘	" 15. 5. 23	" 16. 9. 7
45	落古泰三	" 16. 9. 7	" 17. 12. 20
46	税所史照	" 17. 12. 20	" 19. 4. 30
47	牛嶋弘	" 19. 5. 24	" 20. 12. 22
48	竹原孝昭	" 20. 12. 22	" 22. 3. 2
49	坂田誠二	" 22. 3. 2	" 23. 4. 30
50	津田征士郎	" 23. 5. 23	在任中

歴代市議会副議長

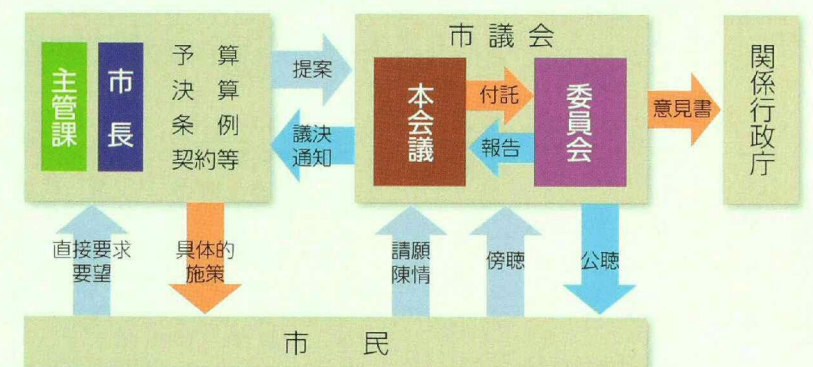
代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	下田直造	明治 22. 4. 26	明治 24. 1. 21
2	下田耕造	" 24. 1. 22	" 31. 5. 22
3	片山基十郎	" 31. 5. 23	" 32. 2. 7
4	林定男	" 32. 2. 8	" 36. 2. 5
5	出彦太郎	" 36. 2. 6	" 36. 2. 11
6	園部交雅	" 36. 2. 12	" 36. 5. 11
7	板垣正軌	" 36. 5. 12	" 37. 2. 12
8	有働格四郎	" 37. 2. 13	" 40. 11. 4
9	板垣正軌	" 40. 11. 14	" 42. 1. 27
10	河田巖	" 42. 1. 28	大正 2. 4. 30
11	井場熊喜	大正 2. 5. 10	" 6. 4. 30
12	峡野諫	" 6. 5. 15	" 7. 3. 10
13	藤野乱	" 7. 3. 11	" 10. 9. 30
14	水上誠規	" 10. 10. 14	" 14. 9. 30
15	河田龍起	" 14. 10. 12	昭和 4. 9. 30
16	平野龍起	昭和 4. 10. 12	" 9. 5. 7
17	橋本寿七	" 9. 5. 8	" 17. 5. 20
18	西郷一	" 17. 6. 11	" 22. 4. 29
19	大塚勇次郎	" 22. 6. 9	" 23. 6. 5
20	加川恒次	" 23. 6. 5	" 26. 4. 29
21	北利民	" 26. 5. 15	" 28. 9. 5
22	上野勉	" 28. 9. 25	" 30. 4. 30
23	森光吉	" 30. 5. 21	" 32. 12. 28
24	吉村貞次	" 34. 6. 12	" 35. 3. 21
25	坂梨日露	" 35. 3. 21	" 37. 7. 9
26	吉村貞次	" 37. 7. 9	" 38. 4. 30
27	石井辰雄	" 38. 5. 18	" 41. 7. 4
28	吉村貞次	" 41. 7. 4	" 42. 4. 30
29	佐藤貞次	" 42. 5. 20	" 44. 3. 24
30	古川国雄	" 44. 3. 25	" 44. 6. 28
31	岩尾忠恵	" 44. 9. 13	" 46. 4. 30
32	阪本富	" 46. 5. 20	" 48. 6. 6
33	荒木昇	" 48. 6. 6	" 50. 4. 30
34	藤山増美	" 50. 5. 16	" 52. 6. 4
35	矢野昭三	" 52. 6. 4	" 54. 4. 30
36	上妻重三	" 54. 5. 14	" 56. 12. 8
37	田尻武男	" 56. 12. 8	" 58. 4. 30
38	白石正	" 58. 5. 18	" 60. 9. 6
39	北口政義	" 60. 9. 6	" 61. 12. 15
40	吉村義澤	" 61. 12. 15	" 62. 4. 30
41	竹本勇	" 62. 5. 22	" 63. 12. 16
42	村上裕人	" 63. 12. 16	平成 2. 3. 26
43	佐藤公平	平成 2. 3. 26	" 3. 4. 30
44	西田統	" 3. 5. 17	" 5. 12. 3
45	伊形寛治	" 5. 12. 3	" 7. 4. 30
46	宮原正一	" 7. 5. 19	" 9. 3. 27
47	中沢誠	" 9. 3. 27	" 11. 4. 30
48	鈴木昌彦	" 11. 5. 21	" 13. 6. 8
49	岡田健士	" 13. 6. 8	" 14. 6. 18
50	奥田弘	" 14. 6. 18	" 15. 4. 30
51	竹原孝昭	" 15. 5. 23	" 16. 9. 7
52	家入安弘	" 16. 9. 7	" 17. 12. 20
53	田尻清輝	" 17. 12. 20	" 19. 4. 30
54	磯道文	" 19. 5. 24	" 21. 3. 25
55	田尻誠一	" 21. 3. 25	" 23. 4. 30
56	田尻将博	" 23. 5. 23	在任中

市議会議員(平成24年4月1日現在)

氏名	会派	氏名	会派
津田征士郎	自民党	白河部貞志	未来
田尻将博	市民連合	上野美恵子	共産党
小佐井賀瑞宜	自民党	有馬純夫	公明党
寺本義勝	自民党	藤岡照代	公明党
高本一臣	自民党	満永寿博	自民党
西岡誠也	市民連合	三島良之	自民党
福永洋一	市民連合	齊藤聰	自民党
田上辰也	市民連合	坂田誠二	自民党
浜田大介	公明党	藤山英美	未来
井本正広	公明党	田中誠一	未来
大島澄雄	自民党	東すみよ	市民連合
原口亮志	自民党	家入安弘	市民連合
くつき信哉	自民党	鈴木弘	公明党
松野明美	未来	竹原孝昭	自民党
田中敦朗	未来	牛嶋弘	自民党
重村和征	未来	税所史照	自民党
上田芳裕	市民連合	落水清弘	自民党
那須円	共産党	江藤正行	自民党
園川良二	公明党	下川寛	未来
藤永弘	公明党	田尻清輝	未来
紫垣正仁	自民党	古川泰三	日本教育
澤田昌作	自民党	北口和皇	自由ク
倉重徹	自民党	益田牧子	共産党
大石浩文	未来	田辺正信	市民連合
田尻善裕	未来		



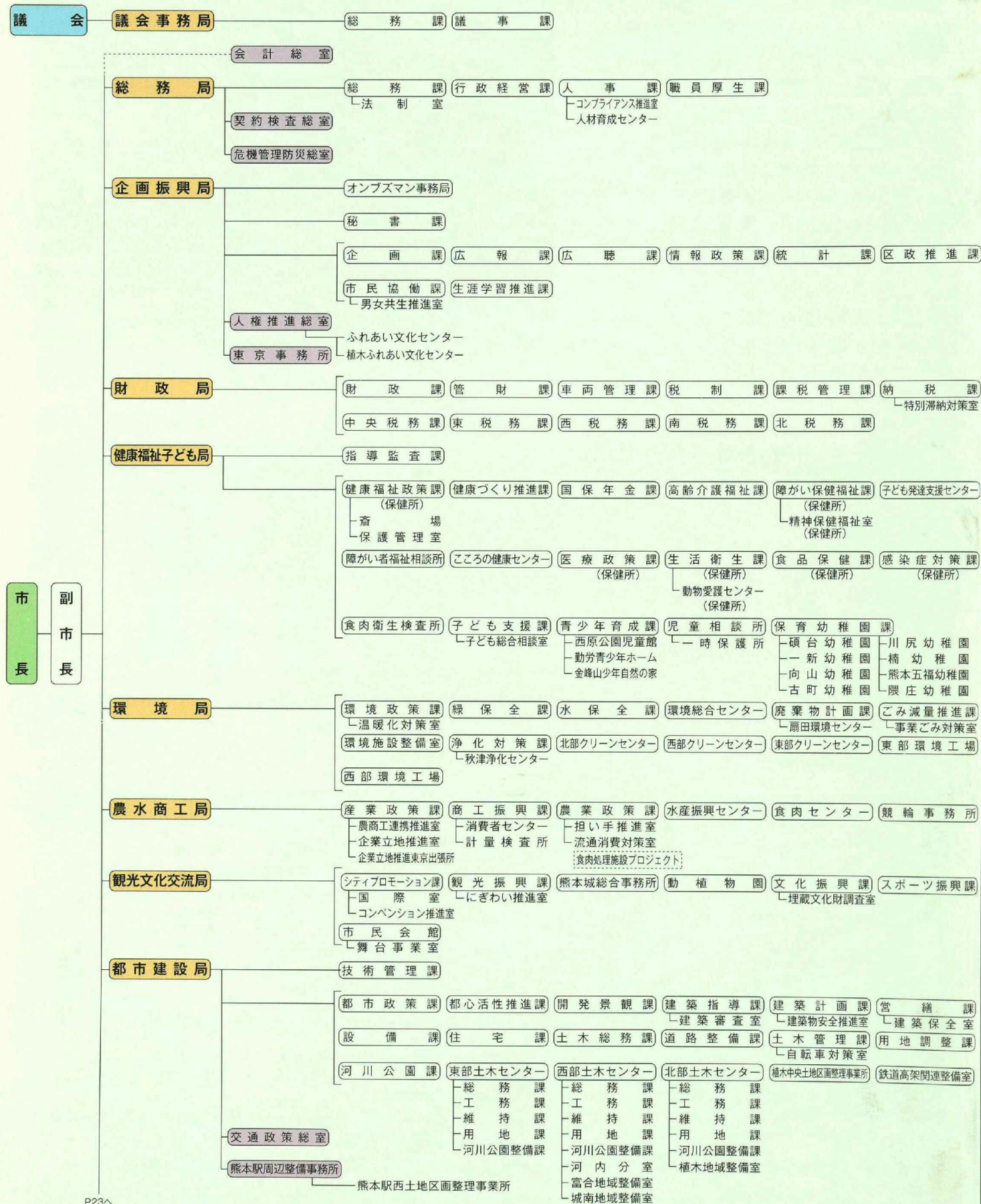
市議会のしくみ



常任・特別委員会(平成24年4月1日現在)

名称	定数	所管事項
常任委員会		
予算決算委員会	49名	予算及びこれに関連する事項 決算及びこれに関連する事項
総務委員会	8名	総務局、財政局、会計総室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
企画教育市民委員会	8名	企画振興局、教育委員会の所管に属する事項
福祉子ども委員会	8名	健康福祉子ども局、病院局の所管に属する事項
環境水道委員会	8名	環境局、上下水道局の所管に属する事項
経済委員会	9名	農水商工局、観光文化交流局、農業委員会の所管に属する事項
都市整備委員会	8名	都市建設局、交通局の所管に属する事項
議会運営委員会	13名	議会運営に関する調査
特別委員会		
総合的なまちづくり対策に関する特別委員会	12名	安全で安心な市民生活を実現するための諸問題と災害に強いまちづくりや危機管理対策の強化に関する調査
中心市街地の活性化に関する特別委員会	12名	中心市街地活性化及びこれに関する事業の諸問題と対策に関する調査
財政運営のあり方に関する特別委員会	12名	大都市にふさわしい財政運営の健全化と財政基盤の強化を図るための諸問題の調査
議会活性化特別委員会	10名	議会活性化のための諸改革に関する調査
市民病院のあり方に関する特別委員会	6名	市民病院の建て替えに伴う諸問題に関する調査

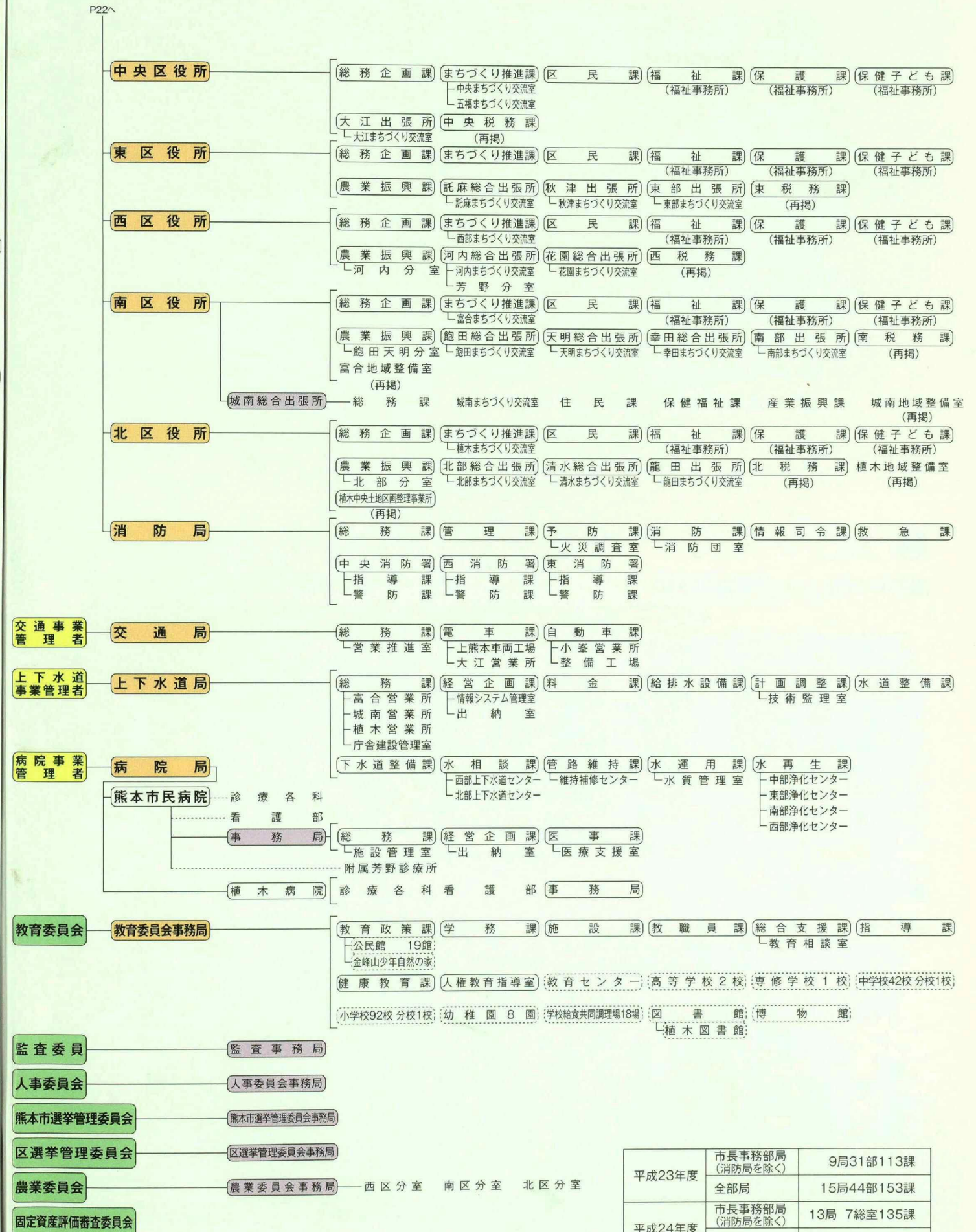
熊本市機構図 (平成24年度の熊本市の組織)



P23へ

凡例

- 議事機関
- 執行機関
- 公営企業
- 局相当組織
- 総室相当組織



平成23年度	市長事務部局 (消防局を除く)	9局31部113課
	全部局	15局44部153課
平成24年度	市長事務部局 (消防局を除く)	13局 7総室135課
	全部局	19局18総室175課

熊本市資料

1 人口	24
2 財政	25
3 産業	26
4 保健福祉	26
5 生活・環境	27
6 安心・安全	28
7 教育・文化・観光	29
8 市民の暮らし	30
9 大都市比較	31
10 主要観光地・施設等	32
11 熊本市のあゆみ	34



1 人口

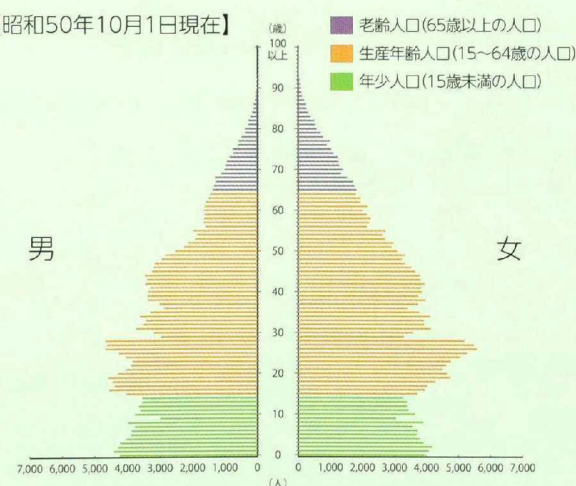
■国勢調査人口・世帯数の推移

年次	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
人口							
総数	525,662	555,719	579,306	650,341	662,012	669,603	734,474
男	251,011	265,037	275,424	310,118	314,455	316,048	344,291
女	274,651	290,682	303,882	340,223	347,557	353,555	390,183
年少人口(0～14歳)(%)	22.5	21.5	19.3	17.2	15.8	14.9	14.5
生産年齢人口(15～64歳)(%)	68.7	68.7	68.9	68.9	67.9	66.4	64.5
老年人口(65歳以上)(%)	8.8	9.9	11.4	13.8	16.3	18.5	21
世帯							
1世帯当たり人員	2.9	2.9	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4

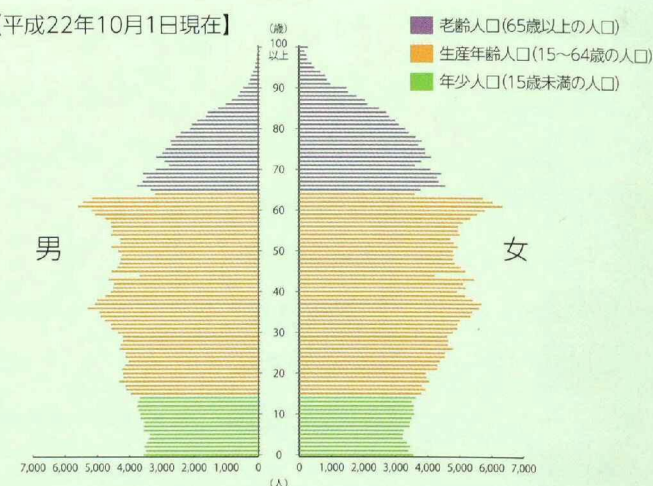
(注) 平成20年10月6日に富合町と合併。平成22年3月23日に城南町、種木町と合併。

■人口ピラミッド

【昭和50年10月1日現在】

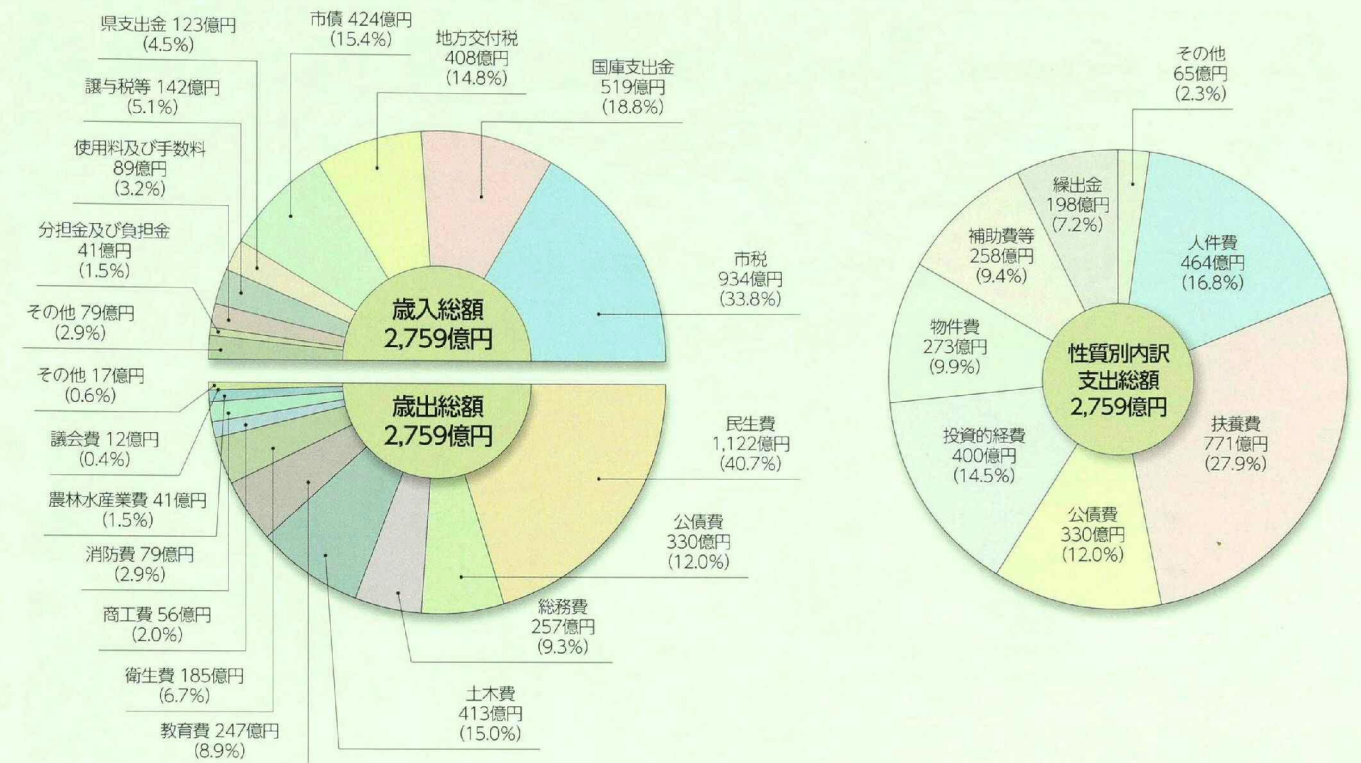


【平成22年10月1日現在】

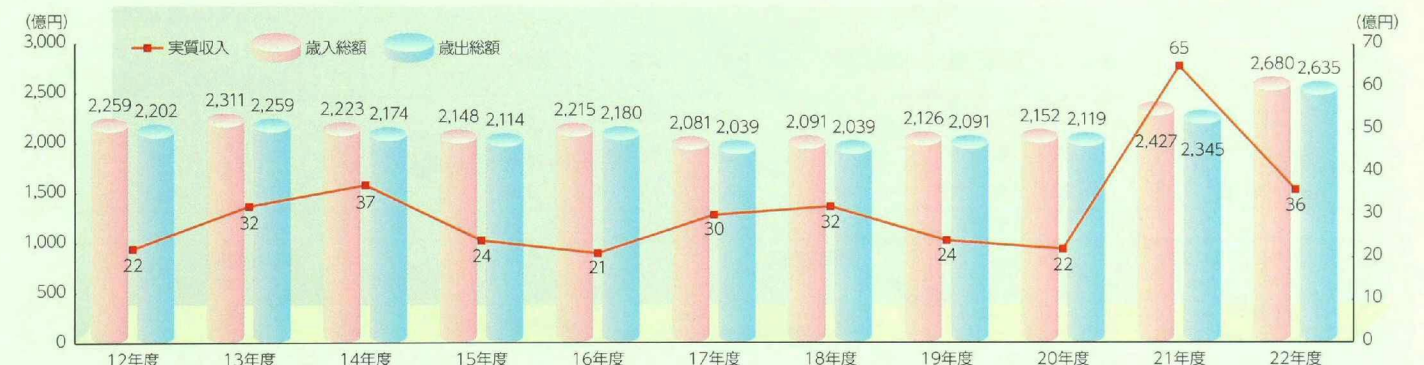


2 財政

■平成24年度一般会計当初予算【歳入・歳出】



■一般会計歳入・歳出決算額の推移



実質収支は、地方公共団体の財政運営が良好かどうか判断する重要な指標の一つですが、平成21年度を除くここ数年は、20～30億円の黒字決算を続けています。

なお、平成21年度は、2町合併影響等により、大幅な実質収支の増となっています。

※実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

■普通会計市債現在高の推移



財政の中期見通しの策定などによる計画的な財政運営により、市債残高は減少を続けていましたが、平成21年度は2町合併による引継ぎ等により、平成22年度は臨時財政対策債の増加により、市債残高が増加していますが、臨時財政対策債を除く市債残高は減少しています。

3 産業

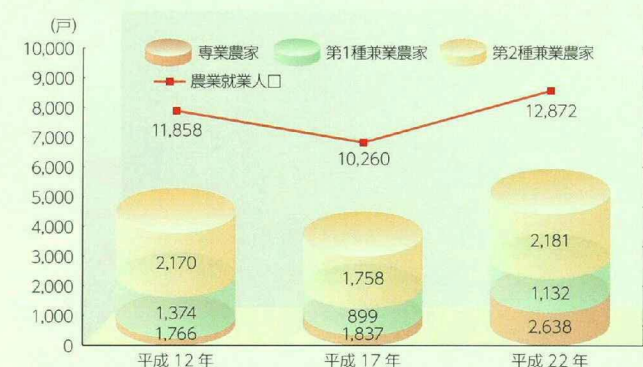
■産業(大分類)別事業所数・従業者数(民営)

平成21年経済センサス-基礎調査

	総数	農林漁業	鉱業、 採石業、 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ ガス・ 熱供給・ 水道業	情報通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産業、 物品賃貸業	学術研究、 専門・技術 サービス業	宿泊業、 飲食サー ビス業	生活関連 サービス業、 娯楽業	教育、 学習支援業	医療、 福祉	複合 サービス 事業	サービス業 (他に分類 されないもの)
事業所数	32,036	117	6	2,874	1,245	13	441	659	9,333	708	2,399	1,789	4,046	3,034	987	2,040	203	2,142
従業者数	317,766	1,500	31	23,242	22,979	835	7,328	14,458	80,242	10,919	9,187	10,336	34,022	14,976	14,445	44,716	2,585	25,965

■農家戸数・農家人口

(農林業センサス)



※平成20年10月に富合町、平成22年3月に城南町、植木町との合併をそれぞれ行っている。

■経営耕地面積

(農林業センサス)



※平成20年10月に富合町、平成22年3月に城南町、植木町との合併をそれぞれ行っている。

4 保健福祉

■医療施設

各年10月1日現在

年度	病院								
	施設数				病床数				
	総数	精神病院	一般病院	療養病床を有する病院(再掲)	総数	精神	感染症	結核	一般
平成20年度	86	15	71	35	14,318	2,785	12	32	7,921
平成21年度	89	16	73	36	14,673	2,975	12	27	8,042
平成22年度	97	17	80	43	15,713	3,307	12	27	8,422

年度	一般診療所						歯科診療所			
	施設数				病床数	療養病床(再掲)	施設数			病床数
	総数	有床	無床	療養病床を有する診療所(再掲)			総数	有床	無床	
平成20年度	579	141	438	24	2,245	256	356	2	354	25
平成21年度	588	139	449	22	2,227	247	360	1	359	6
平成22年度	621	142	479	22	2,286	250	380	1	379	6

※一般病床には、旧その他の病床(旧療養型病床群を除く)を含む。療養病床には、旧療養型病床群を含む。 ※休止中を除く。

資料 市医療政策課

各年10月1日現在

■保育所の状況

単位:人

年次	保育所数	職員数	定員	年齢別入所者数						
				総数	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
平成20年	132	2,737	12,330	12,825	2,794	2,601	2,536	2,203	1,969	722
平成21年	135	2,667	12,760	13,323	2,772	2,761	2,514	2,374	2,104	798
平成22年	152	3,042	14,460	15,216	3,169	2,981	2,984	2,749	2,434	899
市立	23	258	2,035	2,005	460	384	400	340	320	101
私立	129	2,784	12,425	13,211	2,709	2,597	2,584	2,409	2,114	798

※数字に広域入所委託は含まれない。

資料 市保育幼稚園課

各年4月1日現在

■保育所における定員と職員数の推移



■生活保護状況



世帯及び人員は年度平均、金額は年度計を示す。

資料 市保護管理室

5 生活・環境

■熊本市消費者物価指数

平成22年=100

年次	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	雑費	エネルギー	教育関係費	教養娯楽関係費	情報通信関係費
平成18年	99.9	95.8	98.6	98.6	114.7	97.9	98.3	100.6	111.8	108.0	97.6	99.8	109.7	106.8	102.6
平成19年	99.8	95.8	99.3	99.4	108.4	99.6	99.1	100.0	111.7	105.7	98.5	101.3	109.7	104.7	100.7
平成20年	101.0	97.9	99.1	102.8	107.9	101.3	98.8	103.2	111.9	105.2	98.5	108.0	110.1	104.8	100.7
平成21年	100.3	99.1	99.7	100.9	104.9	99.0	99.8	98.6	114.0	102.1	98.5	97.7	112.1	102.1	100.4
平成22年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成23年	99.5	99.4	99.7	102.3	92.6	99.0	100.1	101.3	97.5	96.2	103.7	105.2	98.0	96.5	99.9

資料 総務省統計局「消費者物価指数年報」

■ごみ処理量の推移



※埋立処理量には焼却灰量は含まない。

資料 市廃棄物計画課

■公園数と面積

単位:ha

年度	総数	
	園数	面積
平成18年度	792	562.95
平成19年度	799	578.96
平成20年度	807	592.16
平成21年度	883	642.84
平成22年度	892	642.13

※まちの広場は総数に含まない。

資料 市河川公園課

各年度末日現在



■下水道施設及び普及状況

単位:ha

年度	市域面積	処理区域面積	処理区域内人口(A)	普及率(%) (A)/行政	処理下水水量 (m ³)	水洗化戸数
平成20年度	28,655	10,107	578,074	85.9	78,324,997	217,416
平成21年度	38,953	10,598	602,566	82.8	74,509,991	231,111
平成22年度	38,953	10,787	620,130	85.1	77,673,525	235,450

※水洗化戸数は、平成21年度版まで水洗便所取付戸数として表記。
資料 市上下水道局

■上水道事業の概要

年度	給水世帯 (世帯)	計画給水人口 (人)	給水区域内人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	配水量			年間有収水量 (1000m ³)	有収率 (%)	水源地 (箇所)
						年間(1000m ³)	1日最大(1000m ³)	1日最小(1000m ³)			
平成18年度	277,469	681,000	667,899	654,819	98.0	82,294	255	176	74,081	90.0	21
平成19年度	279,494	681,000	668,021	655,150	98.1	81,115	245	175	73,555	90.7	21
平成20年度	276,486	681,000	677,375	664,244	98.1	79,666	244	172	72,208	90.6	36
平成21年度	284,258	708,033	714,645	680,128	95.2	79,118	238	174	72,091	91.1	58
平成22年度	285,479	708,033	719,036	685,152	95.3	80,446	242	179	73,298	91.1	58

資料 市上下水道局

■犬の登録・捕獲及び処分等頭数



資料 市動物愛護センター

6 安心・安全

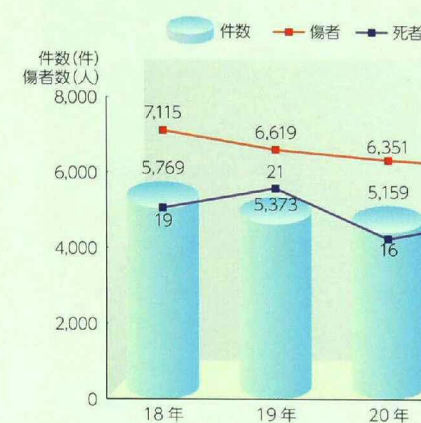
■原因別火災件数及び被害状況

単位:千円

原因	年次	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
合 計		202	178,002	208	200,480	183	182,968	196	125,607	175	356,180
たばこ		23	56,622	24	23,267	16	2,012	31	38,850	22	33,866
たき火		8	8,137	13	3,031	4	3	14	184	7	1,592
火遊び		7	7,732	11	88	7	1,874	12	6,582	8	67
こんろ	こんろ	7	707	7	22	11	492	12	1,068	11	22
	天ぷら油	24	4,952	43	11,160	20	25,577	21	24,076	18	130
放火(疑含)		52	22,615	36	8,527	35	22,796	44	7,749	28	186,614
風呂かまど		2	22	-	-	1	145	1	1	3	9
ストーブ		5	36,529	6	25,274	5	3,403	4	4,762	12	13,382
マッチ・ライター		8	4,124	5	83	8	3,124	2	1	2	2
配線器具		1	3,799	8	22,970	7	12,852	5	1,507	4	3,634
電灯電話配線		7	10,356	15	47,522	9	34,029	9	31,103	10	54,943
電気機器		4	28	3	2,087	4	4,633	3	203	4	2,922
不明		7	4,474	9	20,535	7	9,745	7	2,120	9	40,808
その他		47	17,905	28	35,914	49	62,283	31	7,401	37	18,189

資料 市消防局

■交通事故の状況



資料 熊本県警察本部

(熊本北署、南署、東署管内の合計)

■刑法犯罪検挙件数



資料 熊本県警察本部

(熊本北署、南署、東署管内の合計)

7 教育・文化・観光

■学校(園)数及び児童生徒(園児)数の推移

年次	幼稚園		小学校		中学校		高校		短期大学		大学		専修・各種学校	
	学校数	園児数	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
平成21年	56	9,498	83	40,593	46	21,292	28	25,786	1	606	8	24,505	45	8,917
22年	58	9,580	94	42,976	50	22,435	28	25,874	1	644	8	24,628	44	9,230
23年	58	9,569	94	42,582	52	22,473	27	25,870	1	664	8	24,594	44	9,009

資料 県統計調査課 市教育委員会 各大学

■市立図書館蔵書冊数

単位:冊

年度	総数	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	語学	文学	小説	絵本	その他
23年度末	1,225,673	30,488	41,319	99,716	136,959	85,196	88,960	37,225	94,781	18,365	207,287	229,757	148,400	7,220
(うちプラザ図書館)	142,193	3,407	8,615	12,081	25,505	12,628	12,010	7,356	12,450	3,575	18,514	18,505	7,547	0

資料 市立図書館 ※プラザ図書館は平成23年10月開館。視聴覚資料及び雑誌(15,723冊)は含まない。

■観光客数



資料 市観光振興課



8 市民の暮らし

(人口関係は平成23年分、予算は平成24年度当初予算額、その他は平成22年または22年度分の数値)

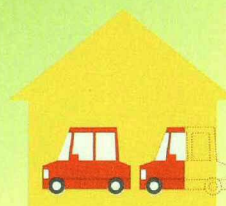
世帯人口

1世帯当り **2.4人**

人口密度

1km²に **1,889人**

乗用自動車

1世帯に **1.2台**

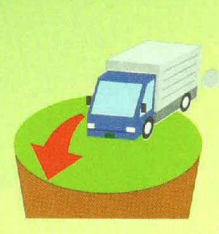
出生

1日につき **19.5人**

死亡

1日につき **17.3人**

転入

1日につき **75.4人**

転出

1日につき **73.4人**

結婚

1日につき **11.6組**

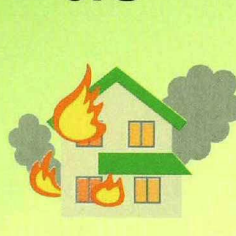
離婚

1日につき **3.9組**

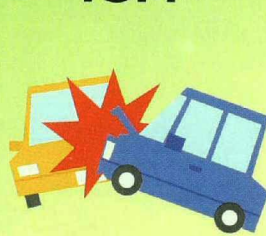
犯罪

1日につき **21.7件**

火災

1日に **0.5件**

交通事故

1日に **13.4件**

酒

1人1日 **0.05リットル**

市職員

市民**115人**に **1人**

消防職員

市民**1,178人**に **1人**

水道使用量

1日1人あたり **235リットル**

ごみ収集量

1日に **644トン**

市税

市民1人当り **126,280円**

市の予算

市民1人当り **375,660円**

9 大都市比較

都市名	面積 (km ²)	ランキン グ	人口	ランキン グ	人口密度 (1km ² 当たり)	ランキン グ	世帯数	ランキン グ	産業別就業者比率					ランキン グ
									第1次 産業	ランキン グ	第2次 産業	ランキン グ	第3次 産業	
札幌市	1,121.12	3	1,913,545	4	1706.8	14	885,848	4	0.45%	17	15.22%	18	84.33%	2
仙台市	785.85	7	1,045,986	11	1334.9	15	465,260	11	0.90%	7	15.12%	19	83.98%	3
さいたま市	217.49	18	1,222,434	9	5620.6	5	503,126	10	0.81%	10	19.94%	15	79.26%	6
千葉市	272.08	16	961,749	13	3534.8	8	406,309	13	0.75%	12	18.09%	16	81.17%	4
横浜市	437.38	11	3,688,773	1	8433.8	3	1,583,889	1	0.48%	16	20.67%	13	78.84%	8
川崎市	142.70	20	1,425,512	8	9989.6	2	662,694	8	0.41%	18	21.15%	12	78.44%	9
相模原市	328.83	14	717,544	18	2182.0	10	302,815	16	0.61%	14	25.44%	3	73.96%	18
新潟市	726.10	8	811,901	15	1118.2	17	312,533	15	3.73%	3	22.21%	8	74.07%	17
静岡市	1,411.85	2	716,197	19	507.3	20	279,019	20	2.87%	5	26.61%	2	70.52%	19
浜松市	1,558.04	1	800,866	16	514.0	19	300,444	18	4.27%	1	35.18%	1	60.54%	20
名古屋市	326.43	15	2,263,894	3	6935.3	4	1,021,227	3	0.26%	19	24.28%	6	75.47%	13
京都市	827.90	5	1,474,015	6	1780.4	13	681,581	7	0.86%	8	21.65%	11	77.49%	10
大阪市	223.00	17	2,665,314	2	11980.6	1	1,317,990	2	0.10%	20	23.02%	7	76.89%	12
堺市	149.99	19	841,966	14	5613.5	6	344,465	14	0.52%	15	24.72%	5	74.75%	15
神戸市	552.26	9	1,544,200	5	2794.1	9	684,183	6	0.77%	11	20.12%	14	79.11%	7
岡山市	789.92	6	709,584	20	898.3	18	296,790	19	2.87%	4	21.74%	9	75.39%	14
広島市	905.41	4	1,173,843	10	1296.5	16	512,907	9	1.03%	6	21.67%	10	77.31%	11
北九州市	488.78	10	976,846	12	2002.2	11	420,702	12	0.81%	9	24.90%	4	74.29%	16
福岡市	341.70	13	1,463,743	7	4288.5	7	707,358	5	0.68%	13	13.90%	20	85.42%	1
熊本市	389.54	12	734,474	17	1885.5	12	302,413	17	3.87%	2	16.81%	17	79.32%	5

※平成22年国勢調査確定値。

※面積は国土交通省国土地理院「平成23年全国都道府県市区町村別面積調」による。

都市名	事業所数							全国物価 地域差指数 (全国値を 100として算出)	ラン キン グ	市区町村別生命表			地下水の 取水割合 (%)	ラン キン グ		
	全産業	ラン キン グ	第1次 産業	ラン キン グ	第2次 産業	ラン キン グ	第3次 産業			ラン キン グ	男 (歳)	ラン キン グ			女 (歳)	ラン キン グ
札幌市	80,313	5	103	5	10,704	5	69,206	4	102.2	9	79.1	12	86.3	5	0.0	11
仙台市	48,667	9	65	14	5,846	16	42,533	9	103.2	12	79.8	2	86.2	9	0.1	10
さいたま市	43,737	12	64	16	7,410	12	36,090	11	103.3	13	79.7	6	85.8	13	8.2	5
千葉市	30,806	19	46	19	4,352	19	26,265	18	103.1	11	79.4	9	85.8	13	-	-
横浜市	123,277	3	159	2	20,451	3	102,324	3	107.3	20	79.8	2	86.2	9	0.0	11
川崎市	44,110	11	66	12	8,538	8	35,390	12	107.0	18	79.0	13	86.2	9	3.3	7
相模原市	25,287	20	83	7	5,379	17	19,722	20	103.4	14	79.8	2	86.3	5	0.0	11
新潟市	38,794	15	152	3	6,585	14	31,841	13	99.0	1	79.0	13	86.6	2	0.0	11
静岡市	39,602	13	79	9	8,045	10	31,356	14	101.6	6	79.0	13	85.9	12	65.4	2
浜松市	39,572	14	166	1	9,403	6	29,837	15	99.1	2	80.3	1	86.6	2	30.6	4
名古屋市	132,199	2	65	14	22,560	2	109,302	2	104.5	15	78.6	17	85.3	18	0.0	11
京都市	81,149	4	74	10	14,253	4	66,603	5	107.0	18	79.2	10	85.8	13	0.0	11
大阪市	209,636	1	54	18	33,858	1	175,426	1	105.3	17	77.0	20	84.5	20	0.0	11
堺市	31,953	18	24	20	6,293	15	25,564	19	102.0	8	78.6	17	85.2	19	0.0	11
神戸市	73,635	7	74	10	8,856	7	64,491	7	104.5	15	78.8	16	85.7	16	0.6	8
岡山市	33,649	16	92	6	5,230	18	28,151	17	100.9	5	79.5	7	86.6	2	38.2	3
広島市	58,049	8	83	7	8,401	9	49,375	8	101.7	7	79.5	7	86.3	5	0.0	11
北九州市	47,796	10	55	17	6,791	13	40,808	10	99.9	4	77.8	19	85.6	17	0.4	9
福岡市	74,587	6	66	12	7,719	11	66,596	6	103.0	10	79.2	10	86.3	5	4.4	6
熊本市	32,572	17	120	4	4,125	20	28,202	16	99.7	3	79.8	2	86.7	1	100.0	1

※平成21年経済センサス-基礎調査

※平成21年7月実施のため、熊本市分については、旧城南町、旧楠木町分を加え算出している。

(注1) 産業3部門に含まれる産業大分類は次のとおり(第1次産業:「農業」,「林業」,「漁業」,第2次産業:「鉱業」,「建設業」,「製造業」,第3次産業:前記及び「分類不能の産業」以外の産業)

※総務省「全国物価統計調査」データ年次:H19

※厚生労働省「市区町村別生命表」データ年次:H16-H18

※厚生労働省「水道統計」,日本水道協会「水道事業ガイドライン」データ年次:H20



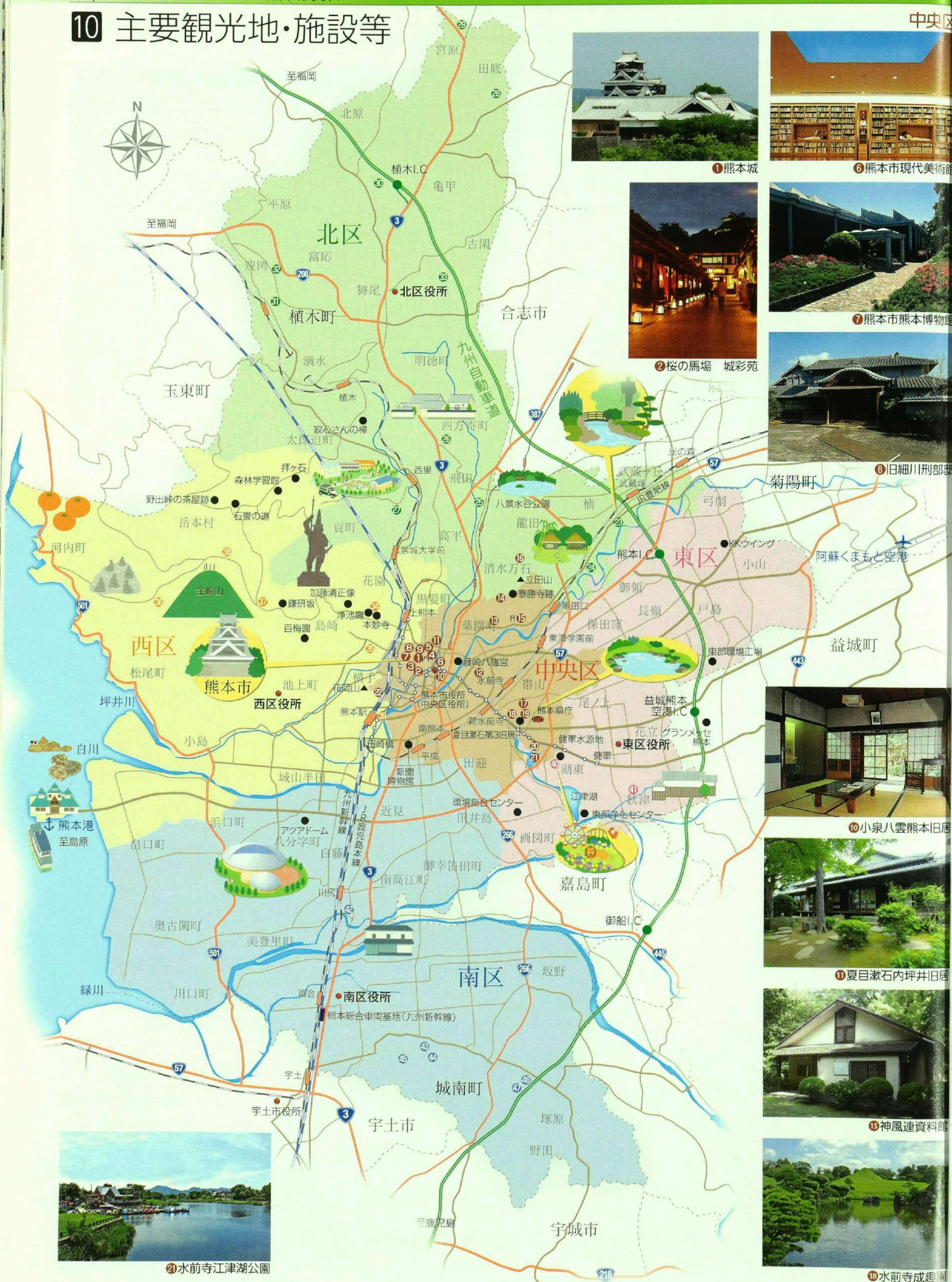
「九州
ど真ん中!
日本一暮らしやすい
政令市くまもと」

○国勢調査における第1次産業の就業者比率 **第2位**○経済センサスにおける第1次産業の事業所数 **第4位**○全国物価地域差指数 **第3位**○市区町村別生命表(男) **第2位**○市区町村別生命表(女) **第1位**○地下水の取水割合 **第1位**

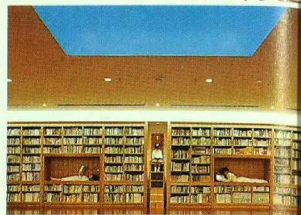
女性の平均寿命が突出して高い水準を示しており、医療サービス水準や居住環境のよさを背景として、高齢者が安心して住むことができる環境を有している。

人口73万人を有する大都市でありながら、その水道水源の100%が清らかな天然地下水で賄われている唯一の都市である。

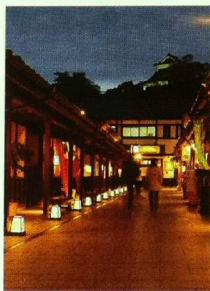
10 主要観光地・施設等



1 熊本城



6 熊本市現代美術館



2 桜の馬場 城彩苑



7 熊本市現代美術館



8 旧細川刑部邸



9 監物台樹木園



10 小泉八雲熊本旧居



11 夏目漱石内坪井旧居



12 徳富記念園



13 五高記念館



14 リデル・ライト両女史記念館

中央区

- 1 熊本城
- 2 桜の馬場 城彩苑
- 3 熊本県立美術館(本館)
- 4 熊本県立美術館(分館)
- 5 熊本県伝統工芸館
- 6 熊本市現代美術館
- 7 熊本市熊本博物館
- 8 旧細川刑部邸
- 9 監物台樹木園
- 10 小泉八雲熊本旧居
- 11 夏目漱石内坪井旧居
- 12 徳富記念園
- 13 五高記念館
- 14 リデル・ライト両女史記念館
- 15 神風連資料館
- 16 立田自然公園
- 17 後藤山記念館
- 18 水前寺成趣園
- 19 熊本洋学校教師ジェーンズ邸
- 20 熊本近代文学館
- 21 水前寺江津湖公園

北区

- 22 北岡自然公園
- 23 武蔵塚公園
- 24 熊本国際民芸館
- 25 熊本市水の科学館
- 26 御馬下の角小屋
- 27 フードパル熊本
- 28 植木温泉
- 29 宮原温泉
- 30 種田山頭火・味取観音堂
- 31 田原坂公園・田原坂資料館
- 32 豊岡のめがね橋
- 33 小野泉水公園

西区

- 34 本妙寺(宝物館)
- 35 島田美術館
- 36 雲巖禅寺・五百羅漢・霊巖洞
- 37 峠の茶屋公園
- 38 金峰森の駅 みちくさ館
- 39 くまもと森都心プラザ

東区

- 40 熊本市動植物園
- 41 横井小楠記念館

南区

- 42 くまもと工芸会館
- 43 雁回山長寿寺 木原不動尊
- 44 六殿神社
- 45 雁回山自然公園
- 46 熊本市塚原歴史民俗資料館
- 47 塚原古墳公園

所在地

本丸
二の丸
二の丸
千葉城町
千葉城町
上通町
古京町
古京町
二の丸
安政町
内坪井町
大江4丁目
黒髪2丁目
黒髪5丁目
黒髪5丁目
黒髪4丁目
水前寺2丁目
水前寺公園
水前寺公園
出水2丁目
出水2丁目
神水本町他
横手2丁目

龍田弓削1丁目
龍田1丁目
八景水谷1丁目
四方寄町
貴町
植木町米塚
植木町宮原
植木町味取
植木町豊岡
植木町豊岡
植木町小野

花園4丁目
島崎4丁目
松尾町平山
河内町岳
河内町岳
春日1丁目

健軍5丁目
沼津1丁目

川尻1丁目
富合町木原
富合町木原
富合町木原
富合町平原
城南町塚原
城南町塚原

北区



28 熊本市水の科学館



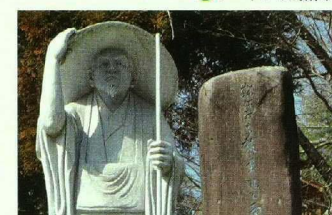
29 御馬下の角小屋



27 フードパル熊本



28 植木温泉



30 種田山頭火・味取観音堂



31 田原坂公園・田原坂資料館



32 本妙寺(宝物館)



33 島田美術館



34 雲巖禅寺・五百羅漢・霊巖洞



35 峠の茶屋公園



36 熊本市動植物園



37 横井小楠記念館



38 雁回山長寿寺 木原不動尊



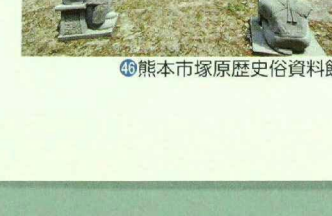
39 六殿神社



40 熊本市塚原歴史民俗資料館



41 塚原古墳公園



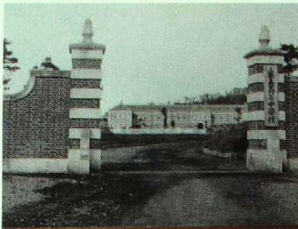
42 熊本市塚原歴史民俗資料館



43 塚原古墳公園

11 熊本市のあゆみ

西暦	年号	熊本市の動き	世の中の動き
明治			
1870	3年	細川護久熊本藩知事となる 古城に医学校が開校	
1871	4年	廃藩置県により熊本県が設置 鎮西鎮台(九州及び中国西部を管轄)が設置 熊本洋学校が開校	太陽暦を採用 白川県を熊本県と改称
1872	5年	明治天皇の熊本行幸	
1877	10年	西南戦争(市街地の大半が兵火により焼失、熊本城天守閣炎上)	
1887	20年	第五高等中学校(九州1校)の設置	東京電灯会社初めて点灯
1888	21年	熊本鎮台 第六師団と改称	
1889	22年	市町村制が施行され熊本市が誕生 第一回熊本市会議員選挙 現在の白川公園前に市役所が開庁	大日本帝国憲法の公布
1891	24年	高瀬・熊本市春日間の九州鉄道が開通 熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)第五高等中学校に着任	大津事件
1892	25年	塘林虎五郎が貧児寮(大江学園)を設立	
1893	26年	内村鑑三、熊本英学校教師として着任	
1894	27年	第五高等中学校は第五高等学校と改称	日清戦争始まる
1895	28年	ハンナ・リデル女史が回春病院設立	
1896	29年	夏目漱石が第五高等学校に着任	
1898	31年	ジョン・メリー・コール神父がらい救済の待労院設立 市立避病院設立(後の白川病院)	治安警察法公布
1900	33年	白川大水害、明午・安巳・長六橋流失	
1901	34年	熊本電話交換局船場町に開設 電話交換業務開始 第1回熊本市統計書を発行	1904 日露戦争始まる
1906	39年	第五高等学校工学部が独立し、熊本高等工業学校と改称	
1907	40年	安巳橋・水前寺間に軽便鉄道開業	
1909	42年	九州縦貫の幹線鉄道(鹿児島線、門司・鹿児島間)実現	
1911	44年	市立実科高等女子学校開校 菊池軌道株式会社が上熊本・広町間開業	ストックホルム五輪に日本初参加
大正			
1912	元年	熊本軌道が嵯崎・百貫石間開通	阿蘇大爆発
1913	2年	熊本市初の工業統計調査を実施 肥後相模館開館	
1920	9年	第1回国勢調査 市人口70,338人、戸数13,817戸	1914 第一次世界大戦 国際連盟発足
1921	10年	大熊本市誕生 (11カ町村合併黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山)	
1922	11年	市立実科高等女子学校が市立高等女子学校と改称	
1923	12年	手取本町に市役所新庁舎落成	関東大震災
1924	13年	市営電車開通(開通に伴い大甲橋を架設) 市水道通水開始 歩兵第二十三連隊の留守隊、渡鹿に移転	市三大事業
1925	14年	市三大事業記念国産共進会開催(入場者133万人) 飽託郡出水村が市と合併	
昭和			
1927	2年	長六橋開通 市営乗合自動車(市営バス)が7台で営業を開始	国有鉄道鹿児島本線全通
1928	3年	熊本放送局JOGK開局(ラジオ初放送) 水前寺公設グラウンド開場(陸上競技場・野球場)	
1929	4年	熊本動物園が水前寺公園内に開園	世界恐慌始まる
1930	5年	熊本市歌を制定 花畑町に市勤業館が落成、開館 市公会堂新館が落成	



第五高等学校



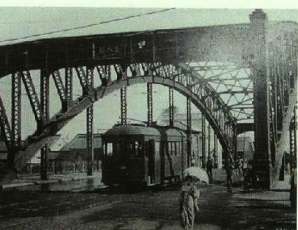
旧熊本駅



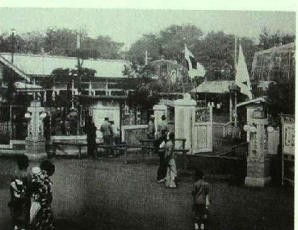
軽便鉄道



旧市役所庁舎



長六橋



熊本動物園



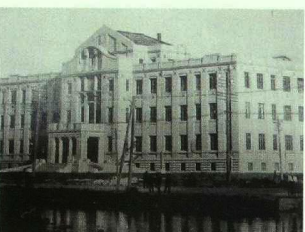
第五高等学校



旧熊本駅



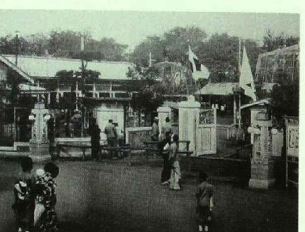
軽便鉄道



旧市役所庁舎



長六橋



熊本動物園

西暦	年号	熊本市の動き	世の中の動き
1931	6年	白坪村を市に編入	満州事変始まる
1932	7年	飽託郡画図村が市と合併、画図町となる	
1933	8年	熊本城宇土櫓国宝に指定	日本、国際連盟脱退
1935	10年	新興熊本大博覧会を開催	
1936	11年	飽託郡健軍村が市と合併	ヘレン・ケラー来熊
1939	14年	飽託郡清水村が市と合併	1937 日中戦争始まる
1940	15年	飽託郡川尻町、日吉村、力合村を市に編入	1941 太平洋戦争始まる
1942	17年	九州日日新聞と九州新聞が統合され熊本日日新聞発足 健軍町に三菱重工業熊本航空機製作所設立	
1944	19年	市電氣局が市交通局と改称	
1945	20年	アメリカ軍が熊本市を空襲(中心市街地の大半が焼失)	太平洋戦争終結
1946	21年	市立民生病院発足	日本国憲法公布
1948	23年	市消防本部設置 市立母子寮を設置 熊本中央児童相談所が古城町に設置	1947 地方自治法公布 婦人に初の参政権 大韓民国誕生
1949	24年	市立高等女子学校が市立高等学校と改称 「火の国まつり」開始 市立実務員養成所が西山中学校内に開校 市立熊本保健所を上林に新設 市立民生病院は市立熊本市市民病院となる	1950 朝鮮戦争起こる 1951 サンフランシスコ講和条約調印
1952	27年	市立博物館開館	
1953	28年	飽託郡田迎村、御幸村を市に編入 6.26熊本大水害発生 白川の氾濫で熊本市中心に大被害 飽託郡池上村、高橋村、城山村を市に編入 熊本初の民間放送 ラジオ熊本開局 上益城郡秋津村を市に編入	NHKテレビ放送開始
1954	29年	市電開通30年記念「熊本交通観光大博覧会」開催	
1955	30年	飽託郡松尾村を市に編入	1956 日ソ国交回復
1957	32年	市立高等学校に商業科を併設 飽託郡小島町、龍田村を市に編入 大水害発生 井戸川・坪井川氾濫 金峰山周辺で山津波	5000円札、100円硬貨の発行 東京都人口が世界一に 阿蘇中岳大爆発 1万円札発行、国民皆保険と拠出制国民年金が発足
1958	33年	飽託郡中島村を市に編入	
1959	34年	市立高等学校商業科が分離独立し、市立商業高等学校となる 市立実務員養成所が市立実務商業学校と改称	NHKカラーテレビ放送熊本で開始
1960	35年	健軍町に熊本空港開港 熊本城天守閣再建、落成 第15回国体夏季大会を開催	東京オリンピック開催
1962	37年	天守閣再建記念「躍進熊本大博覧会くまもと博」開催	
1964	39年	市第一次総合計画策定	
1968	43年	市民会館開館	
1969	44年	熊本交通センター開所 江津湖畔に水辺動物園が開園、熊本動物博覧会を開催	大阪で日本万国博覧会開催
1970	45年	飽託郡託麻村を市に編入 勤労青少年ホームが新屋敷に落成	
1971	46年	九州縦貫自動車道(熊本-榎木間)開通	
1972	47年	市議会が「森の都宣言」決議	沖縄返還協定調印
1975	50年	金峰山少年自然の家が開所	1972 札幌で冬季オリンピック開催
1976	51年	市議会が「地下水保全都市宣言」決議	
1979	54年	市立実務商業学校が市立実務商業専門学校と改称 市が「健康都市」宣言 中国・桂林市と友好都市提携調印	
1981	56年	産業文化会館が開館 新市庁舎建設完成 幸田市民センター開所、北部保健センター開所、横井小楠記念館開所	
1986	61年	総合体育館、青年会館開館	ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故
1987	62年	米国・サンアントニオ市と姉妹都市提携調印	
1988	63年	大江市民センター開所	



市勤業館



市消防本部



熊本博物館(第1館)



6.26 熊本大水害



熊本城



新市庁舎

11 熊本市のあゆみ

西暦	年号	熊本市の動き	世の中の動き
平成			
1989	元年	市制施行100周年記念行事「熊本百彩」開催 流通情報会館開館	消費税制度スタート ベルリンの壁崩壊
1990	2年	「総合婦人会館・カルチャーセンター」開館 「水資源国際会議」を開催 「水の科学館」開館	
1991	3年	熊本市と飽託郡4町(北部・河内・飽田・天明)が合併 南部スポーツセンター開館 水辺動物園と都市緑化植物園が一体化 動植物園として開園	
1992	4年	独国・ハイデルベルク市との友好都市締結の協定書草案に合意	日本人初の宇宙飛行士、毛利 衛
1993	5年	大名屋敷・旧細川刑部邸移築・復元 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕 93ゆうあいピック熊本大会開催	アメリカ、スペースシャトル・エンデバーで宇宙へ
1994	6年	国際交流会館開館 「市民こども憲章」制定 福井市と姉妹都市締結	日本人宇宙飛行士、向井千秋 アメリカ、スペースシャトル・コロンビアで宇宙へ
1995	7年	市立実務商業専門学校が市立総合ビジネス専門学校と改称 子ども文化会館開館、健軍文化ホール開館 環境総合センター完成 市が「平和都市」宣言 市が「環境保全都市」宣言	阪神・淡路大震災 地下鉄猛毒サリンガス事件
1996	8年	中核市に移行 熊本市優待証(さくらカード)運用開始 第1回くまもとお城まつり開幕	熊本国体
1997	9年	97男子世界ハンドボール選手権大会開催 国内初の超低床電車運行開始	
1998	10年	市総合屋内プール「アクアドームくまもと」完成 「中核市サミット'98in熊本」開催	長野オリンピック開催
1999	11年	市議会が「スポーツ都市宣言」決議 第54回国体「くまもと未来国体」開催 第35回全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと大会」開催 第20回記念国際・全国マスターズ陸上競技選手権熊本県大会を開催 「ひのくに新世紀総体」開催	情報公開法成立
2000	12年	市立商業高等学校が市立千原台高等学校と改称	
2001	13年	市立高等学校が市立必由館高等学校と改称	アメリカ同時多発テロ事件
2002	14年	市現代美術館開館 国際環境都市会議くまもと2002開催 託麻スポーツセンター体育館開館 市議会が「観光立市くまもと」都市宣言決議 アジア太平洋都市サミット第5回実務者会議開催	
2003	15年	市政情報プラザ開設 個人情報の保護に関する条例施行	イラク戦争勃発 個人情報保護法成立
2004	16年	「熊本市圏及び政令指定都市についての研究会」設置 世界女性スポーツ会議くまもと開催	尼崎市でJR福知山線脱線事故
2006	18年	熊本城築城400年 熊本市中心市街地活性化基本計画認定 「ウェル・パルクくまもと」開館 熊本城本丸御殿復元完了 熊本市と富合町が合併	
2009	21年	家庭ごみの有料化開始	裁判員制度始まる
2010	22年	熊本市と城南町、植木町が合併	九州南部で口蹄疫の感染広がる
2011	23年	九州新幹線全線開業 「桜の馬場城彩苑」開館 「くまもと森都心プラザ」開館	東日本大震災、福島第一原子力発電所事故
2012	24年	熊本上海事務所開設 政令指定都市となる	



市制100周年



熊本国体



九州新幹線全線開業

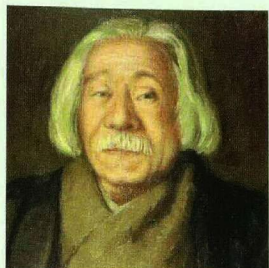


事務引継書調印式

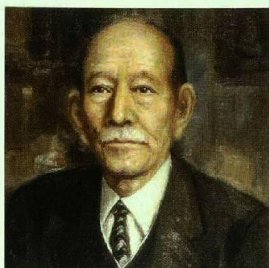


政令指定都市移行記念式典

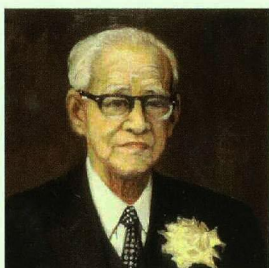
名誉市民

徳富 蘇峰氏(本名:猪一郎)
昭和30年1月1日表彰

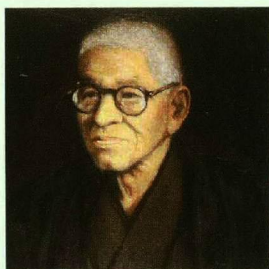
明治一昭和期の新聞人・歴史家。熊本洋学校・同志社に学び上京、帰郷して自由民権運動に参加し、大江義塾を開設。明治20年民友社を設立「国民之友」、同23年「国民新聞」を発行。「近世日本国民史」100巻を完結。生涯300冊の著作を残した。
文久3年1月25日生まれ、
昭和32年11月2日死去、94歳。

高橋 守雄氏
昭和30年1月1日表彰

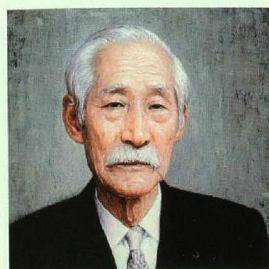
第7代熊本市長として、歩兵第23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽くした。また、教育者として東洋語学専門学校校長、熊本商科大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。
明治16年1月1日生まれ、
昭和32年5月6日死去、74歳。

細川 護立氏
昭和35年4月1日表彰

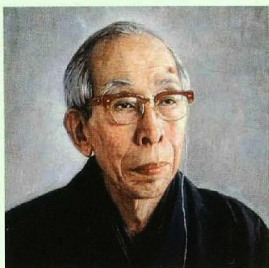
旧肥後藩主細川家16代当主。有斐学会舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身者の育成援護に尽くした。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献した。
明治16年10月21日生まれ、
昭和45年11月18日死去、87歳。

福田 令寿氏
昭和35年4月1日表彰

医師、教育者、社会事業家。熊本英学校で海老名弾正らに学び受洗。エジンバラ大医学部卒。産婦人科病院開業の傍ら無料診療所紫苑会治療所を創立。県医師会会長、公選の県教育委員長、大江高校校長、県社会福祉協議会会長、熊本YMCA理事長、県原水禁理事長など歴任。キリスト教信仰に基づく生涯を貫いた。
明治5年12月7日生まれ、
昭和48年8月7日死去、100歳。

宇野 哲人氏
昭和44年10月1日表彰

漢学者。東京大学名誉教授。東方文化学院院長、実践女子大学学長、東方学会会長を歴任。清国(中国)に留学して支那学を、ドイツで西洋哲学を学んだ。西洋哲学の方法を用いた中国哲学の叙述は一世を風靡した。
明治8年11月15日生まれ、
昭和49年2月19日死去、98歳。

堅山 南風氏
昭和44年10月1日表彰

日本画家。明治42年、22歳のとき上京。大正2年第7回文展に「霜月頃」が初入賞。その後、横山大観に師事した。昭和13年、文展審査員。戦後は文化勲章受章など日本画壇の重鎮となる。代表作に日光輪王寺薬師堂天井画「鳴竜図」、熊本市市民会館縦横「火の国讃舞」などがある。
明治20年9月12日生まれ、
昭和55年12月30日死去、93歳。

後藤 是山氏(本名:祐太郎)
昭和54年10月1日表彰

新聞人、俳人。九州日日新聞社入社後、国民新聞社に留学、徳富蘇峰の薫陶を受けた。帰熊後九州日日新聞社の主筆、編集長として熊本の文化振興に貢献。昭和2年、俳誌「かはがらし」(のち「東火」)を創刊主宰した。著書に「肥後の勤皇」、編書に「肥後国誌」がある。
明治19年6月8日生まれ、
昭和61年6月4日死去、99歳。

中村 汀女氏(本名:破魔)
昭和54年10月1日表彰

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした「汀女俳句」は、句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献した。「ホトギス」同人、「風花」を創刊主宰した。
明治33年4月11日生まれ、
昭和63年9月20日死去、88歳。

安永 露子氏
平成21年10月1日表彰

宮中歌会始詠進歌選者を努めるなど日本を代表する女流歌人。歌誌「稚の木」を主宰。平成3年には歌壇の最高賞である迢空賞を受賞。また、書家としても顕著な功績を収める。熊本県教育委員会委員長、熊本県文化協会会長などの要職を歴任。本市の教育・文化の発展に多大な功績。勲四等瑞宝章受章、くまもと県民文化賞受賞。熊本県近代文化功労者。
大正9年2月19日生まれ、
平成24年3月17日死去、92歳。



熊本 市章

ひらがなのくの字を図案化したもの。
和を尊び、人の調和を基本として躍進
する熊本市の姿を円形にし、未来へ
たくましく発展する意味で太い円形に
まとめたものです。

(昭和44年8月1日制定)

Kumamoto City Song

熊本市歌

東岡 正治作詞 鳥飼 哲夫作曲

(昭和5年3月制定)

- 一、^{れい ほう あ そ ぼる のを みず} 霊峰阿蘇を遥かに望み 水白川の流に沿いて
天下に名だたる^{こじょう}古城の都 われらの都 大熊本市
- 二、^{とき わ みどり つつ} 常盤の緑いらかを包み 森の都と世に謳われて
^{ぶん うん} 文運さかゆる平和の都 われらの都 大熊本市
- 三、^{りっ し いとな} 商工立市の営みしげく いま新興の光に満ちて
^{せい き} 生氣ぞあふるる文化の都 われらの都 大熊本市
- 四、^{かがや しん しゅ はた} 輝く進取の旗ひるがえし ^{にし に ほん も なか} 西日本の最中に立ちて
^{きず り そう} いざいざ築かむ理想の都 われらの都 大熊本市



熊本市 市勢要覧 2012



市の木 イチヨウ

(イチヨウ科)

熊本市民には熊本城が銀杏城といわ
れているようになじみ深く、強健で樹
齢が長く、市街地の街路に多く植栽さ
れ、独特な尖円錐形の樹形をつくり春
の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよく
知られている。

(昭和49年10月9日制定)



市の花 肥後椿

(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩
士をはじめ寺社地の豪族等の愛好家
によって広められ改良を重ねて、清雅
枯淡の味わいある銘花となったといわ
れている。肥後椿の特色は薄色の花弁
が主流でよく整った一重咲きで、中心
に金糸銀糸のような色鮮やかな太い雄
しべが梅芯のように盛りあがるところ
にある。(昭和49年10月9日制定)



市の鳥 シジュウカラ

全長約14.5cmで、美しい澄んだ声で
さえずり、多量の害虫を食べ、緑を守
る益鳥として市民に親しまれている。
金峰山や立田山、託麻三山など森に
多く生息し白い胸に黒ネクタイ状の
帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じ
て観察される。

(昭和59年5月22日制定)

City of Kumamoto

2012年7月発行

発行人／熊本市企画振興局統計課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

TEL 096-328-2380

制作／(株)城野印刷所

〒861-2296 熊本県上益城郡益城町広崎1630-1

TEL 096-286-3366